

南相馬市 住民意向調査 報告書

令和4年3月

復興庁
福島県
南相馬市

南相馬市 住民意向調査

報告書

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果（主要項目）	5
2-1 回答者の属性・状況	7
2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2）	7
2-1-2 世帯人数	7
2-1-3 現在の住まい（問6）	8
2-1-4 現在の居住地域（問7）	8
2-1-5 震災発生当時の住居形態（問5）	9
2-1-6 現在の住居形態（問8）	9
2-2 調査結果	10
2-2-1 南相馬市への帰還意向（問16）	10
2-2-2 南相馬市への帰還時期（問18）	12
2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由（問19）	12
2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと （問21）	13
2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、 帰還しない理由（問20）	14
2-2-6 避難先自治体における健（検）診受診の機会確保の希望 （問22）	15
III 調査結果（全項目）	17
3-1 回答者の属性	19
3-1-1 性別	19
3-1-2 年齢	19
3-1-3 現在の職業（就業形態）	20

3-2	東日本大震災発生時の状況	21
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	21
3-2-2	震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域	22
3-2-3	震災発生当時の住居形態	22
3-3	現在の状況	23
3-3-1	現在の住まい	23
3-3-2	現在の居住地域	23
3-3-3	現在の住居形態	24
3-3-4	現在の住まいに居住している理由	25
3-3-5	現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先	26
3-3-6	現在の主な通院先	26
3-3-7	現在の買い物や通院のための主な交通手段	27
3-3-8	現在の住まいでの隣組への加入状況	27
3-3-9	現在参加している地域活動	28
3-3-10	現在のボランティア活動への参加意向	28
3-4	将来の意向	29
3-4-1	南相馬市への帰還意向	29
3-4-2	南相馬市での今後の定住先	34
3-4-3	南相馬市への帰還時期	35
3-4-4	南相馬市への帰還時期の理由	36
3-4-5	南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、 帰還しない理由	37
3-4-6	南相馬市への帰還を判断するために必要なこと	38
3-4-7	避難先自治体における健（検）診受診の機会確保の希望	39
3-5	全世帯員の意向	40
3-5-1	世帯の代表者との続柄	40
3-5-2	性別	41
3-5-3	年齢	41
3-5-4	今後の住まいの意向	42
3-5-5	南相馬市への帰還時期	43
3-6	意見・要望	44
3-6-1	意見に係る記入内容の分類結果	45
3-6-2	生活について	46
3-6-3	震災発生前の居住地について	47
3-6-4	賠償について	48
3-6-5	帰還について	49

3-6-6	避難期間中及び将来の住宅について	50
3-6-7	除染について	51
3-6-8	復旧・復興について	52
3-6-9	原発の安全性について	53
3-6-10	原発事故に対する対応について	54
3-6-11	その他	55
IV	参考資料	57
4-1	使用調査票	59

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされていた南相馬市住民の「帰還後の生活環境の改善」、「帰還に向けた諸施策の適切な実施に向けた取り組み」を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	南相馬市
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 4,000世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和3年11月1日（月）～令和3年11月15日（月）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、南相馬市
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 2,613世帯（有効回収率65.3%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね30を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。
- ・Ⅱ調査結果（主要項目）の設問ごとのコメントについては、令和3年度について述べている。
（令和元年度の結果は、参考値として掲載）

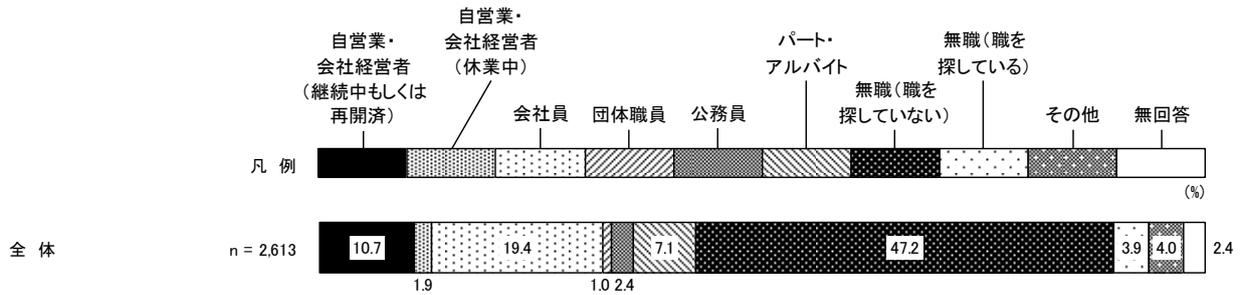
II 調查結果（主要項目）

2-1 回答者の属性・状況

2-1-1 現在の職業（就業形態）（問2）

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」以外では、「会社員」が19.4%と最も高く、次いで「自営業・会社経営者（継続中もしくは再開済）」が10.7%となっている。

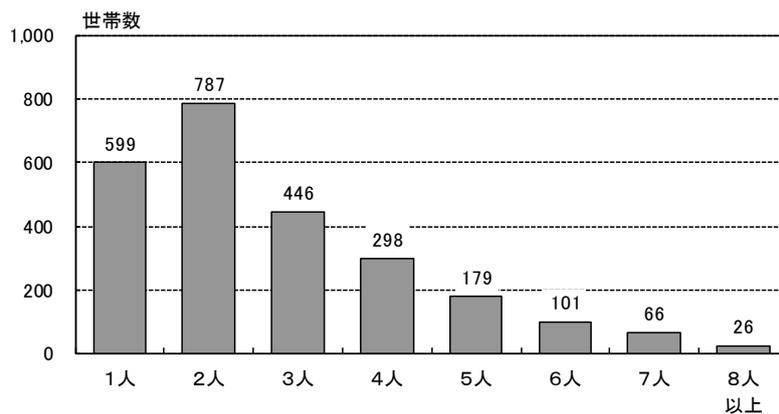
<図表2-1-1 現在の職業（就業形態）>



2-1-2 世帯人数

世帯人数については、「2人」が787世帯と最も多く、次いで「1人」が599世帯、「3人」が446世帯となっている。

<図表2-1-2 世帯人数>



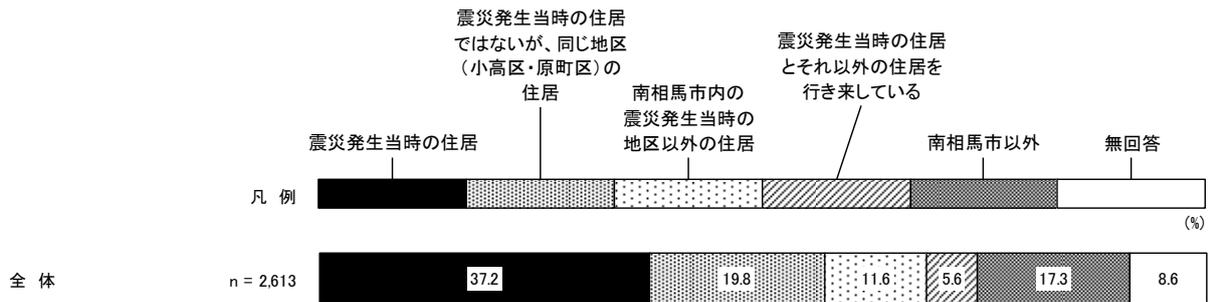
※震災当時、南相馬市に居住していた方のみ

※世帯人数は、「ご家族の現在の状況について」の回答結果より集計

2-1-3 現在の住まい（問6）

現在の住まいについては、「震災発生当時の住居」が37.2%と最も高く、次いで「震災発生当時の住居ではないが、同じ地区（小高区・原町区）の住居」が19.8%、「南相馬市以外」が17.3%となっている。

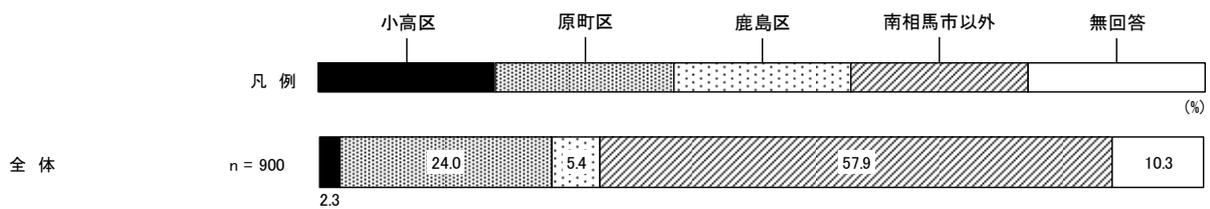
<図表2-1-3 現在の住まい>



2-1-4 現在の居住地域（問7）

現在の居住地域については、「南相馬市以外」が57.9%と最も高く、次いで「原町区」が24.0%、「鹿島区」が5.4%となっている。

<図表2-1-4 現在の居住地域>

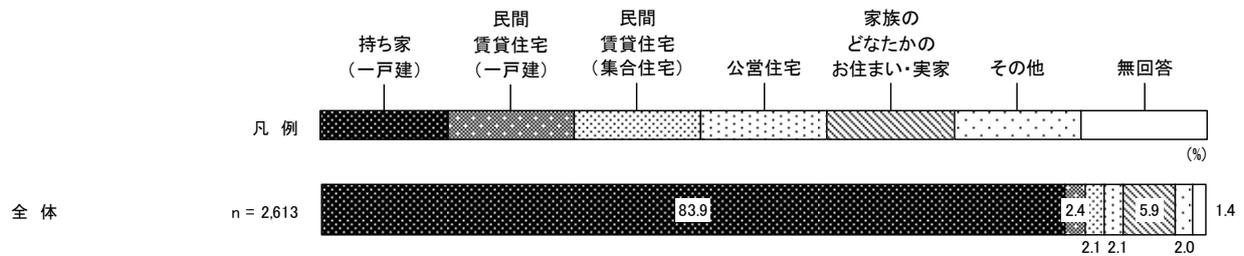


※問6で「南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「南相馬市以外」と回答した方のみ

2-1-5 震災発生当時の住居形態（問5）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が83.9%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が5.9%となっている。

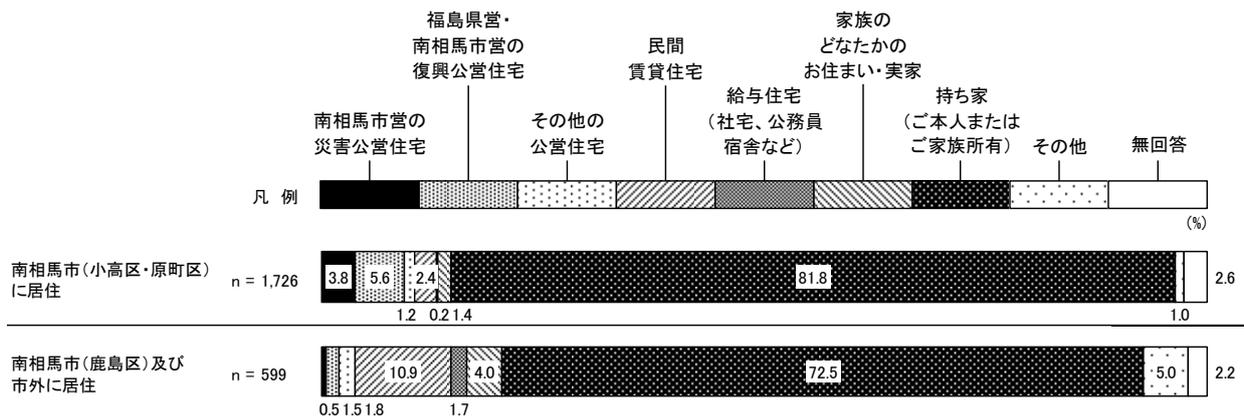
<図表2-1-5 震災発生当時の住居形態>



2-1-6 現在の住居形態（問8）

現在の住居形態について、南相馬市（小高区・原町区）の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が81.8%と最も高く、次いで「福島県営・南相馬市営の復興公営住宅」が5.6%となっている。
南相馬市（鹿島区）及び市外の居住者では「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が72.5%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅」が10.9%となっている。

<図表2-1-6 現在の住居形態>



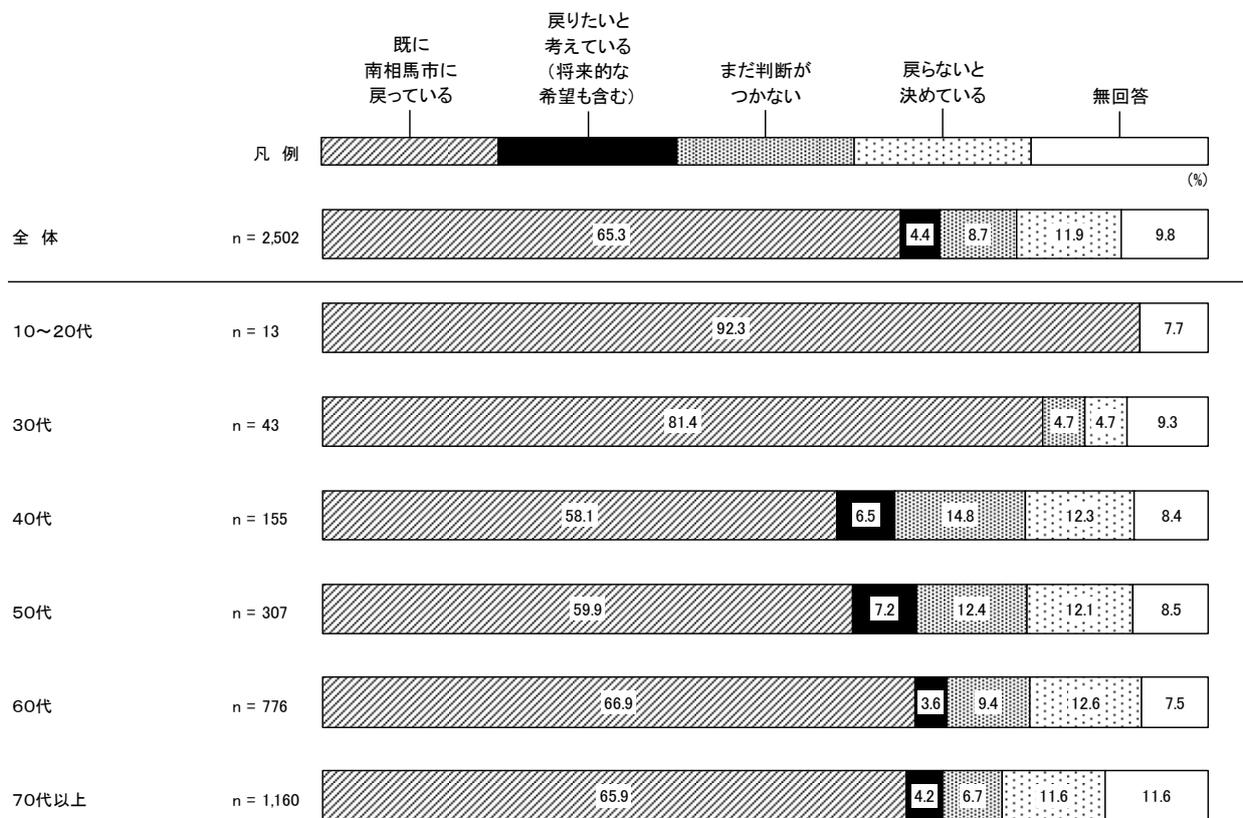
2-2 調査結果

2-2-1 南相馬市への帰還意向（問16）

南相馬市への帰還意向については、「既に南相馬市に戻っている」が65.3%と最も高く、次いで「戻らないと決めている」が11.9%、「まだ判断がつかない」が8.7%、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が4.4%となっている。

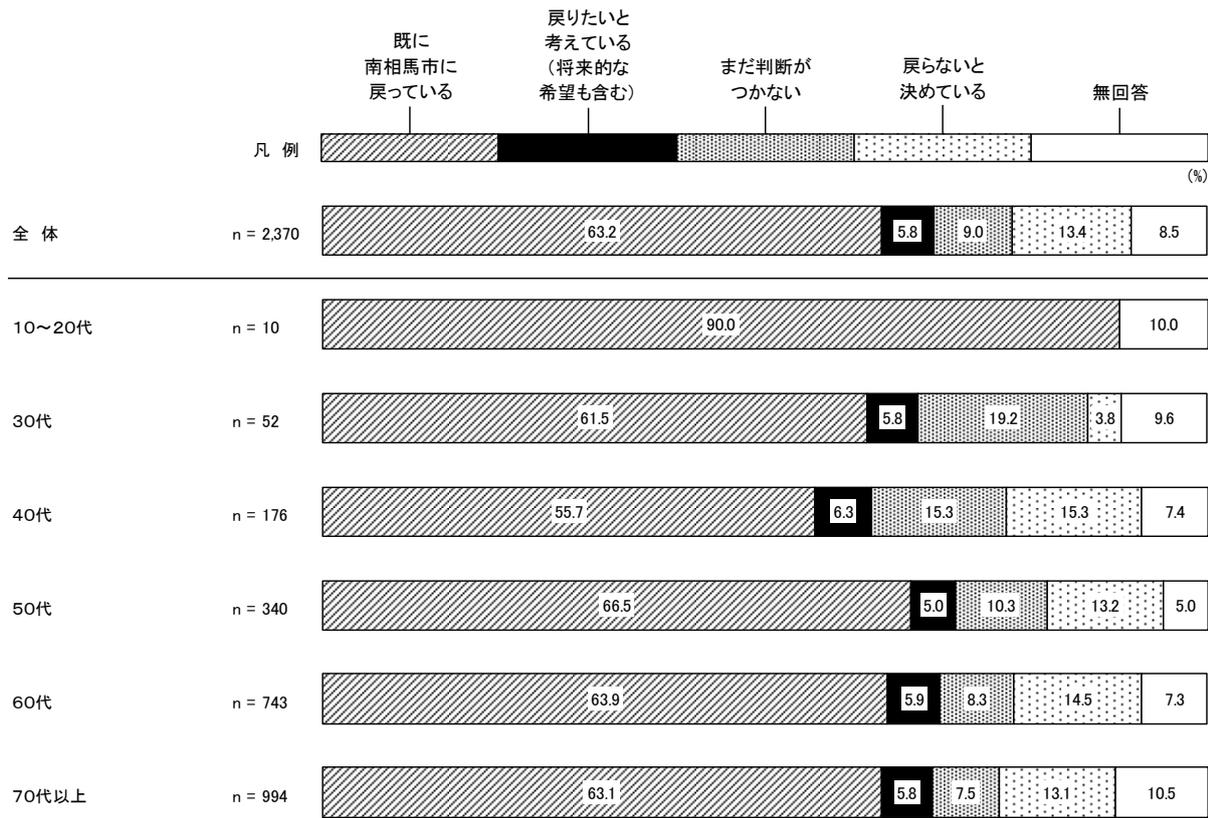
回答者の年齢別にみると、「既に南相馬市に戻っている」は30代以下で8割以上となっている。一方、「戻らないと決めている」は40代以上の高年齢層で1割以上を占めている。

<図表2-2-1-1 南相馬市への帰還意向：令和3年度（年齢別）>



※震災当時、南相馬市に居住していた方のみ

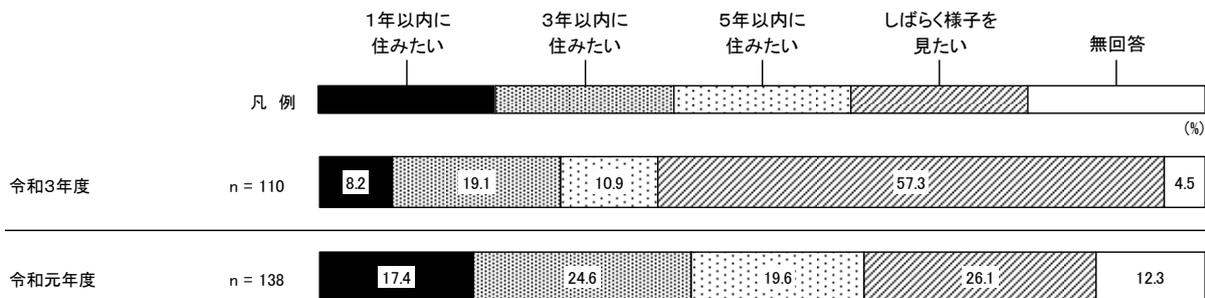
<図表2-2-1-2 南相馬市への帰還意向：令和元年度（年齢別）>



2-2-2 南相馬市への帰還時期（問 18）

南相馬市への帰還時期については、「しばらく様子を見たい」が57.3%と最も高く、次いで「3年以内に住みたい」が19.1%、「5年以内に住みたい」が10.9%となっている。

<図表2-2-2 南相馬市への帰還時期>

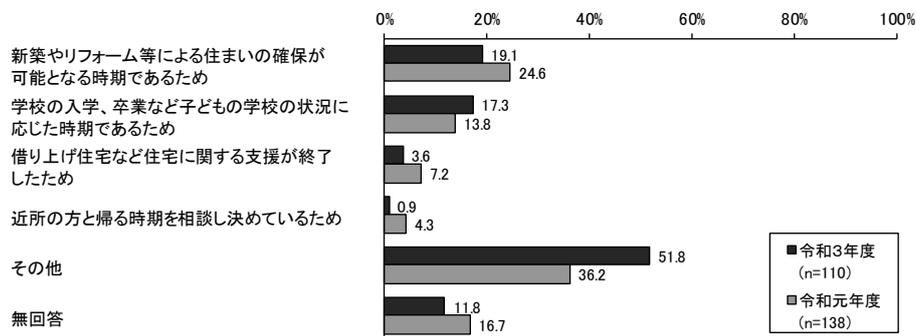


※問 16 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※世帯の代表者の意向
 ※令和元年度調査における「5年後以降」を令和3年度において「しばらく様子を見たい」に変更

2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由（問 19）

南相馬市への帰還時期の理由については、「新築やリフォーム等による住まいの確保が可能となる時期であるため」が19.1%と最も高く、次いで「学校の入学、卒業など子どもの学校の状況に応じた時期であるため」が17.3%、「借上げ住宅など住宅に関する支援が終了したため」が3.6%となっている。

<図表2-2-3 南相馬市への帰還時期の理由>

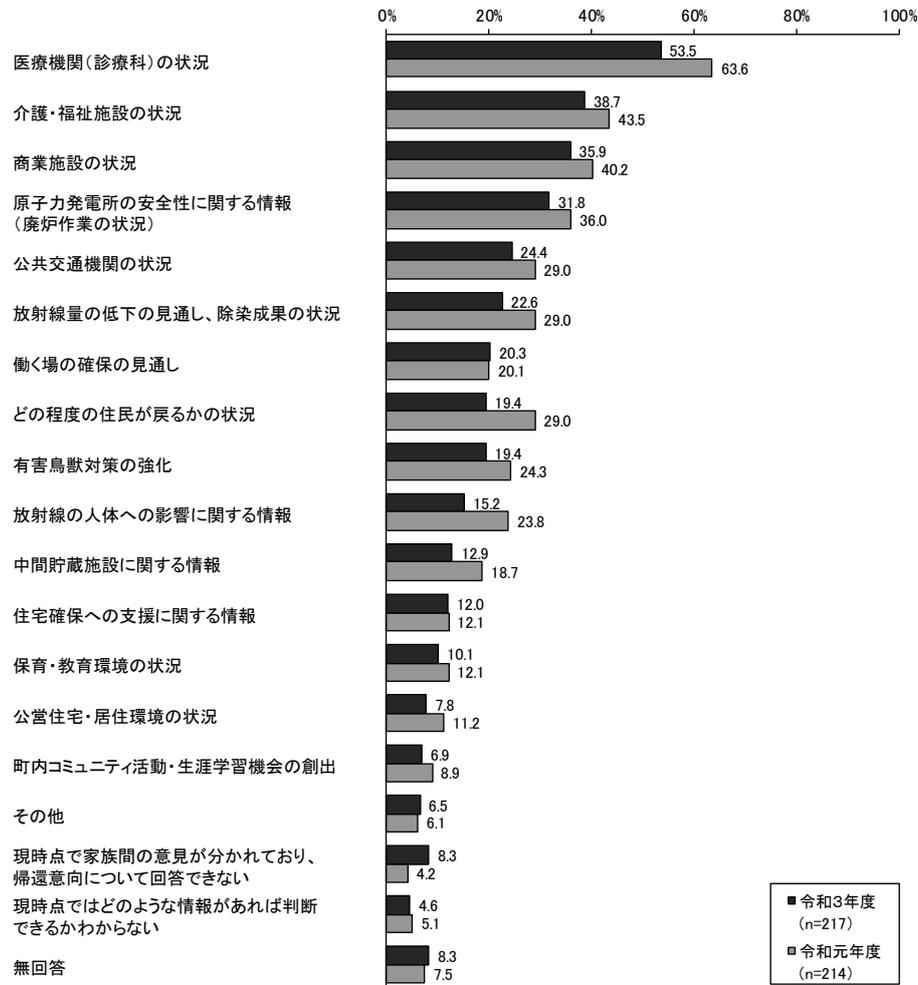


※問 16 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと（問 21）

南相馬市への帰還を判断するために必要なことについては、「医療機関（診療科）の状況」が 53.5%と最も高く、次いで「介護・福祉施設の状況」が 38.7%、「商業施設の状況」が 35.9%となっている。

<図表 2-2-4 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと>



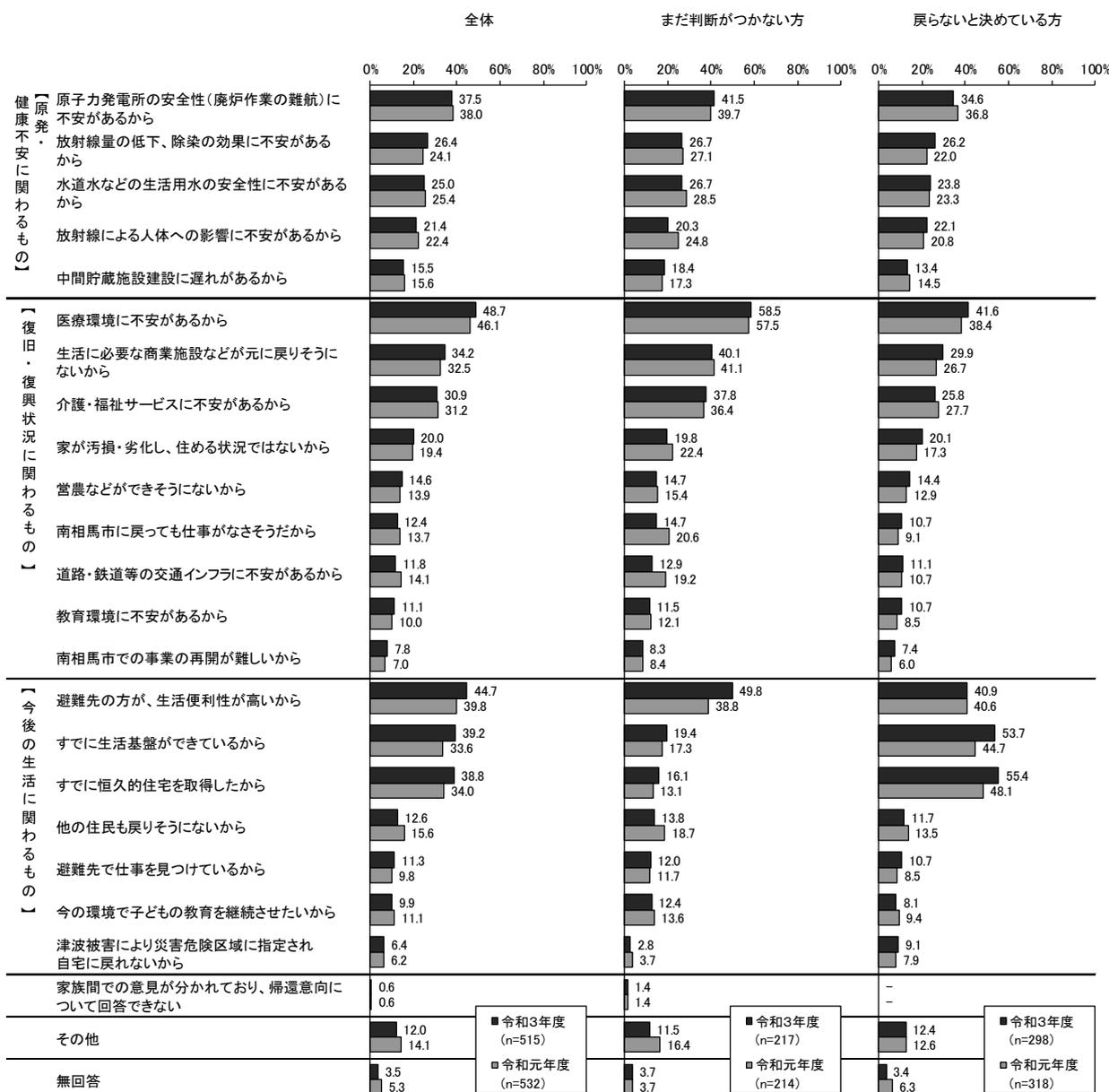
※問 16 で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（問 20）

南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由は、全体では「医療環境に不安があるから」が48.7%と最も高く、次いで「避難先の方が、生活利便性が高いから」が44.7%、「すでに生活基盤ができてきているから」が39.2%となっている。

帰還意向別にみると、まだ判断がつかない方では「医療環境に不安があるから」が58.5%、「避難先の方が、生活利便性が高いから」が49.8%と高くなっている。一方、戻らないと決めている方では「すでに恒久的住宅を取得したから」が55.4%、「すでに生活基盤ができてきているから」が53.7%と高くなっている。

＜図表2-2-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（帰還意向別）＞

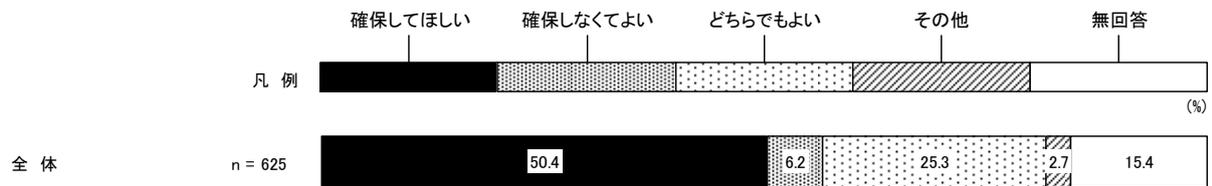


※問 16 で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-2-6 避難先自治体における健（検）診受診の機会確保の希望（問 22）

避難先自治体における健（検）診受診の機会確保の希望については、「確保してほしい」が 50.4%と最も高く、次いで「どちらでもよい」が 25.3%、「確保しなくてよい」が 6.2%となっている。

<図表 2-2-6 避難先自治体における健（検）診受診の機会確保の希望>



※問 16 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

※令和 3 年度からの新規設問

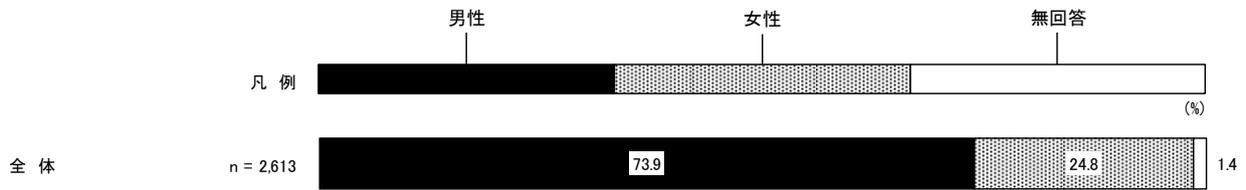
Ⅲ 調査結果（全項目）

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 あなたの性別、年齢について教えてください。（性別）

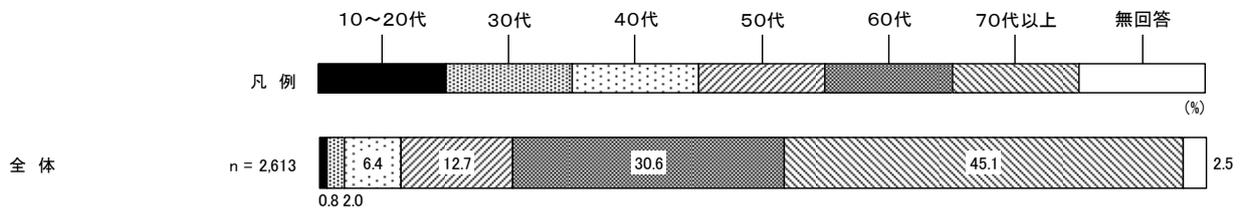
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 あなたの性別、年齢について教えてください。（年齢）

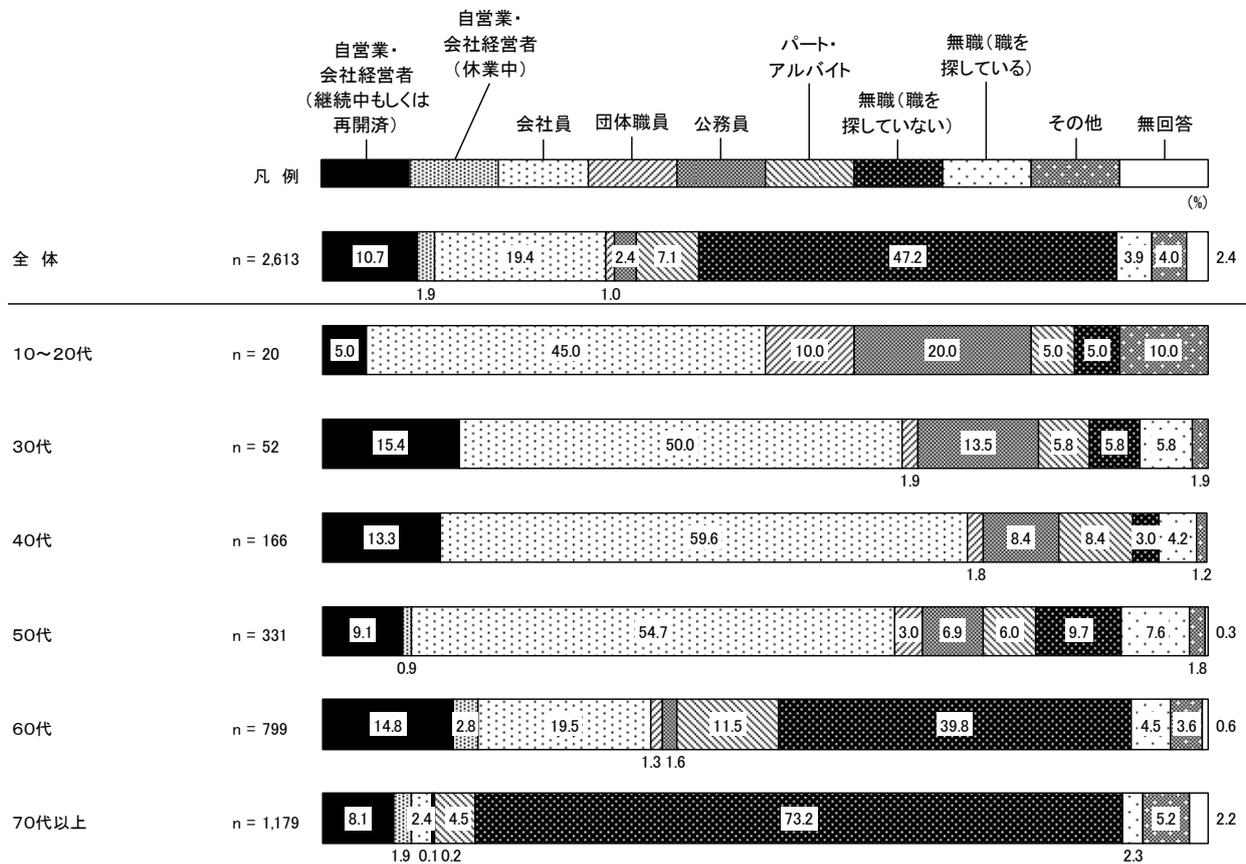
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>

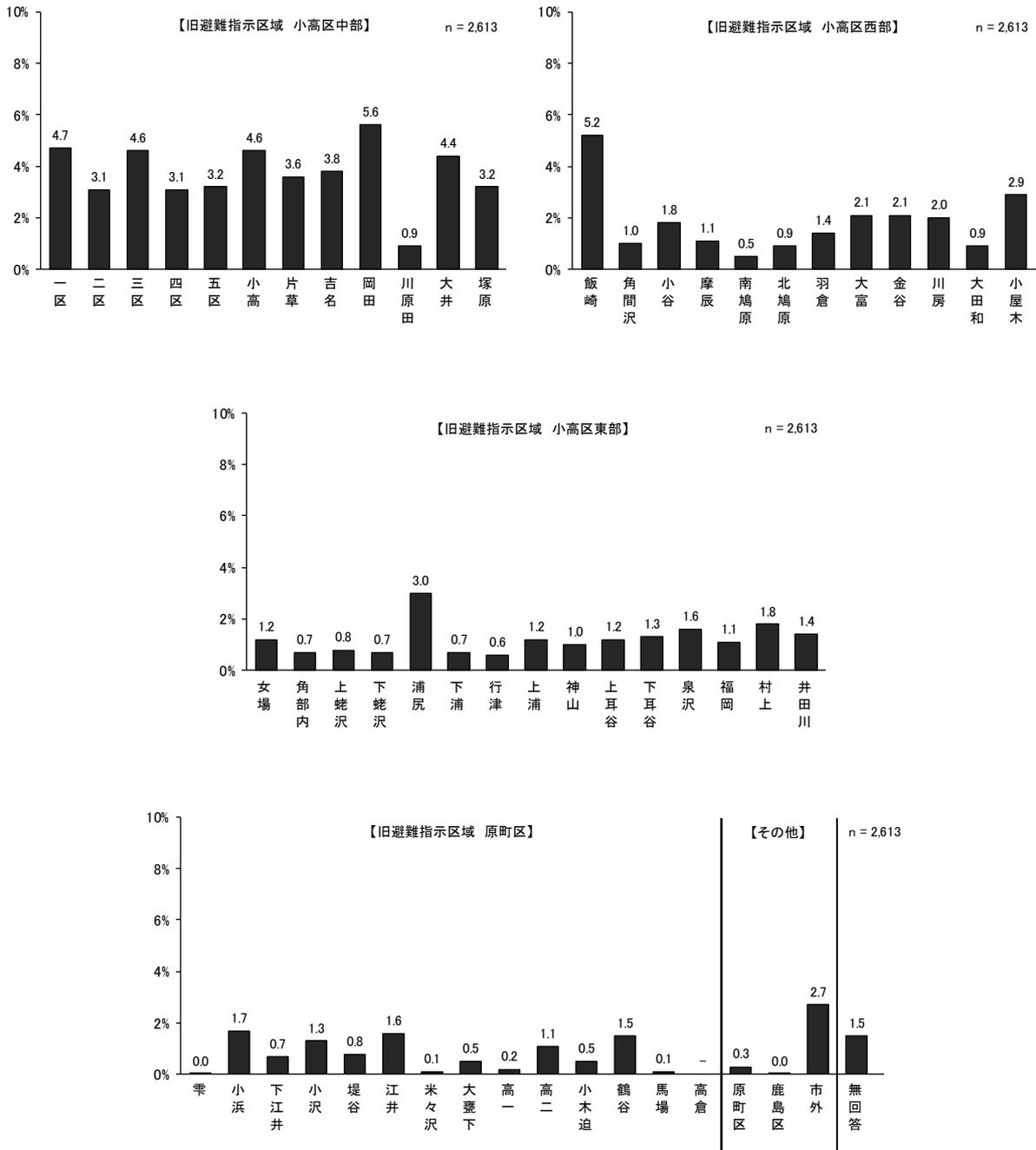


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3 震災発生当時にお住まいだった居住地を教えてください。（○は1つ）

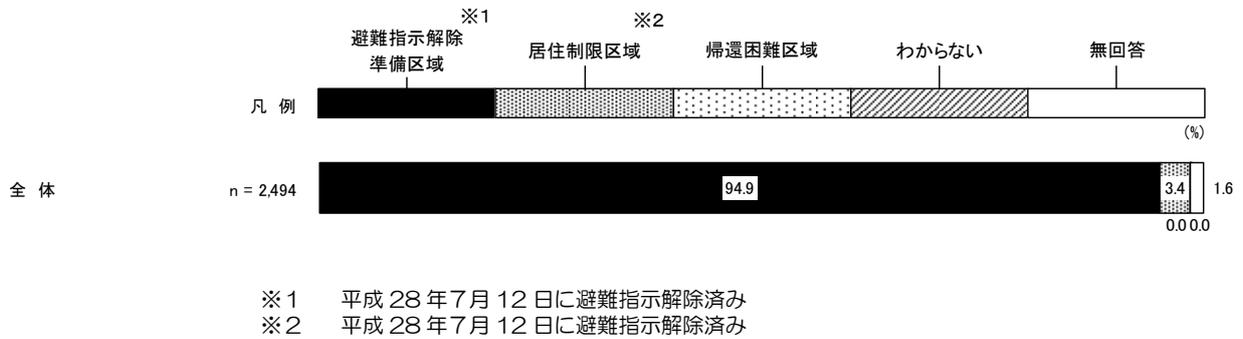
<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>



3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域

【問3で「54. 原町区」「55. 鹿島区」「56. 市外」以外を回答した方に伺います。】
 問4 震災発生当時のお住まいが、平成24年度の避難指示区域見直し時点において、以下の各区域のどこに該当していたかを教えてください。（〇は1つ）

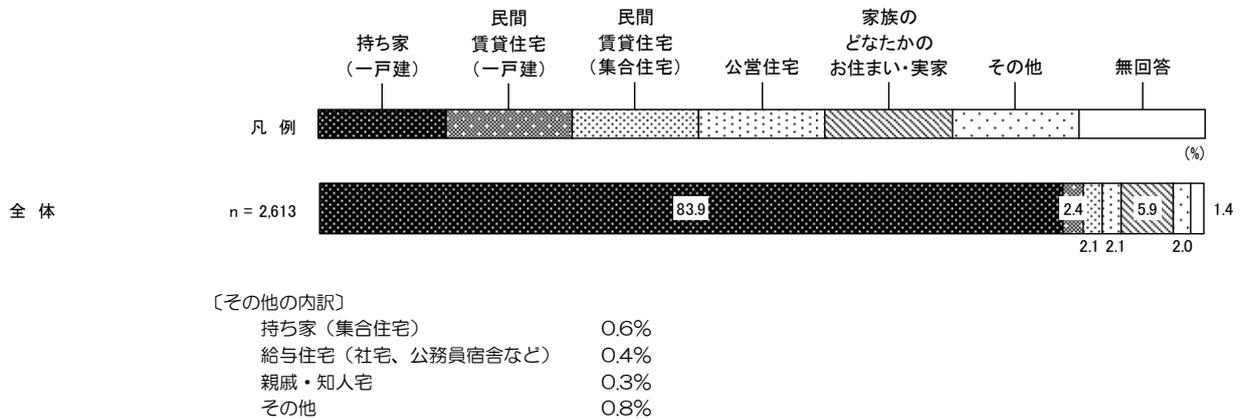
<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの行政区が該当する避難指示区域>



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問5 震災発生当時にお住まいだった住宅形態を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>

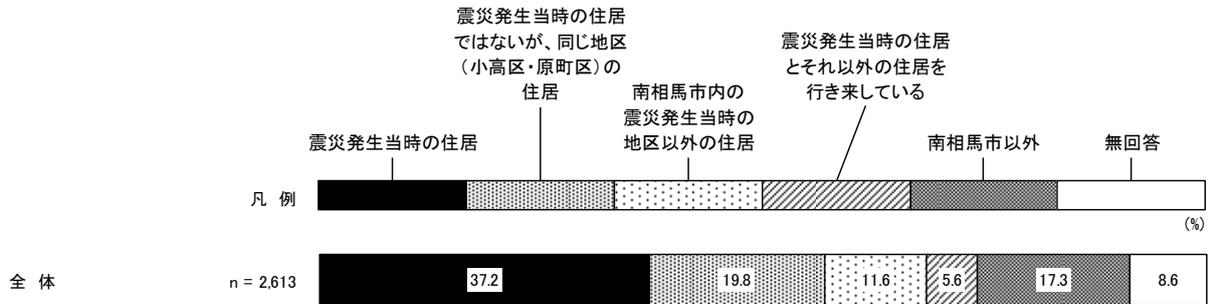


3-3 現在の状況

3-3-1 現在の住まい

問6 現在、あなたはどちらにお住まいですか。（〇は1つ）

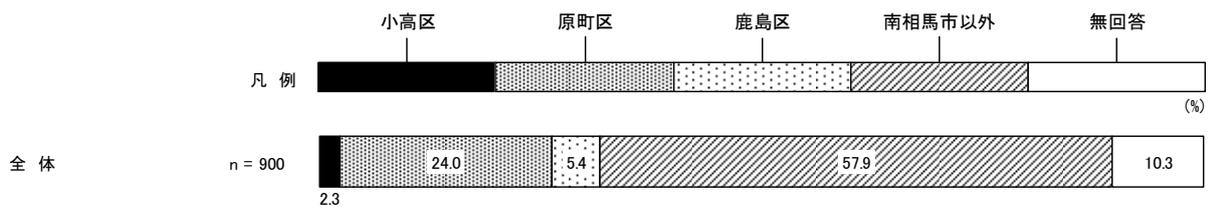
<図表3-3-1 現在の住まい>



3-3-2 現在の居住地域

【問6で「3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「5. 南相馬市以外」と回答した方に伺います。】
 問7 現在、あなたがお住まいの場所を教えてください。（〇は1つ）
 ※「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方は、震災発生当時の住居でない方のお住まいの場所についてお答え下さい。

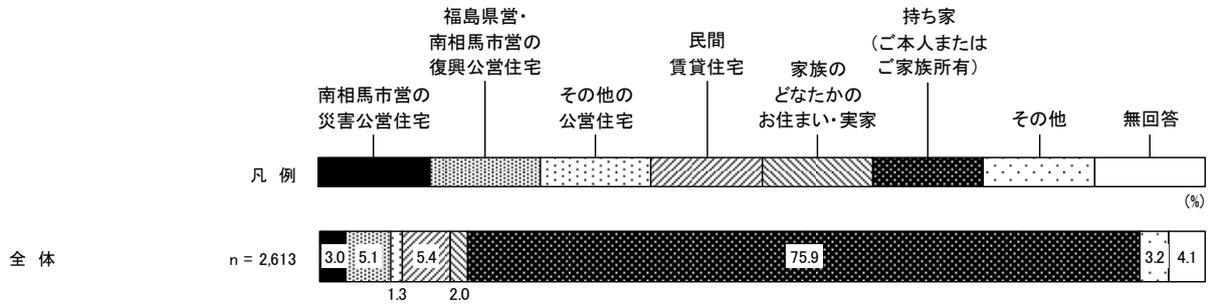
<図表3-3-2 現在の居住地域>



3-3-3 現在の住居形態

問8 現在、あなたがお住まいになっている住宅の形態を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-3 現在の住居形態>



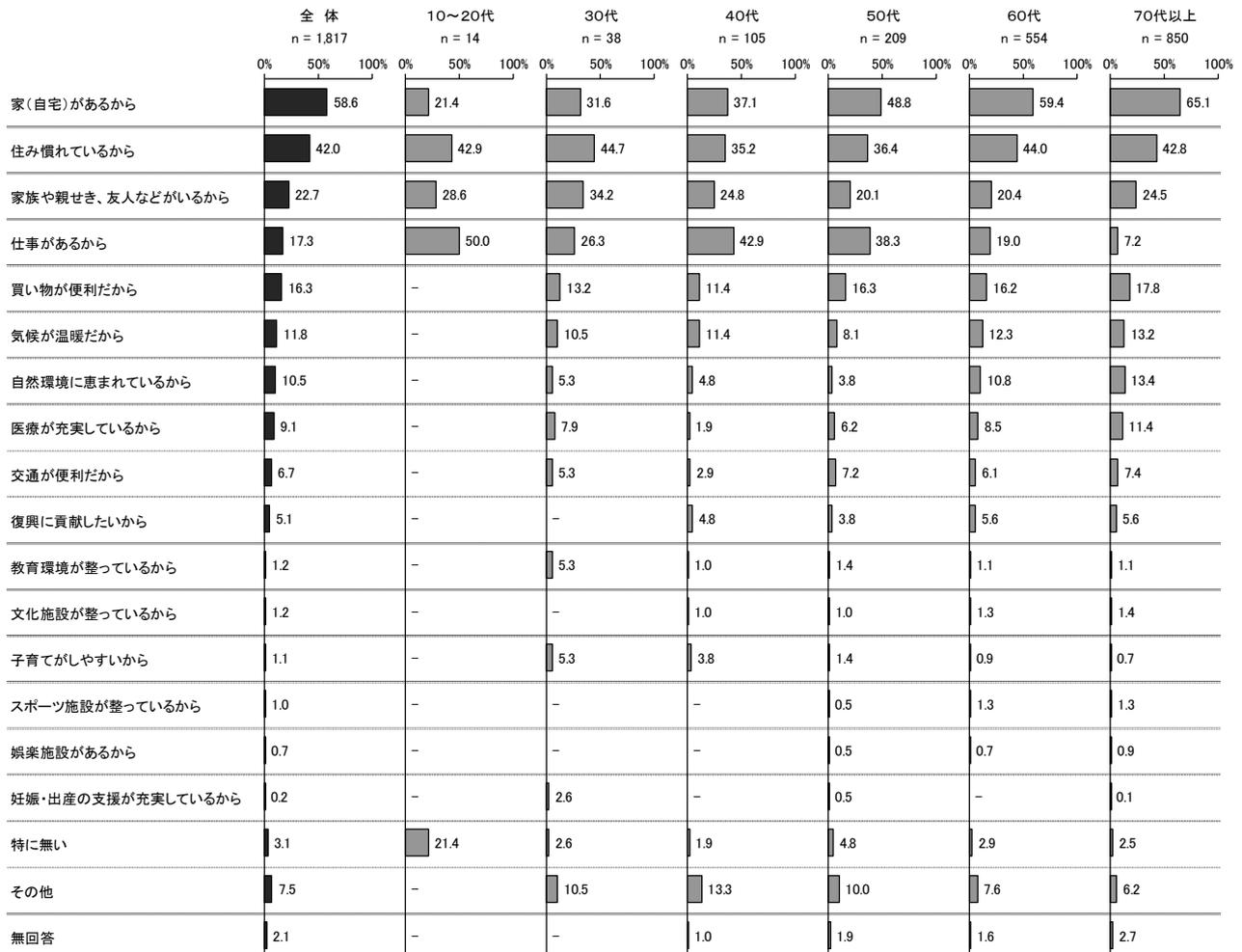
〔その他の内訳〕

給与住宅（社宅、公務員宿舎など）	0.8%
親戚・知人宅	0.8%
その他	1.6%

3-3-4 現在の住まいに居住している理由

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】
 問9 現在の場所にお住まいの理由を教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-3-4 現在の住まいに居住している理由（年齢別）>

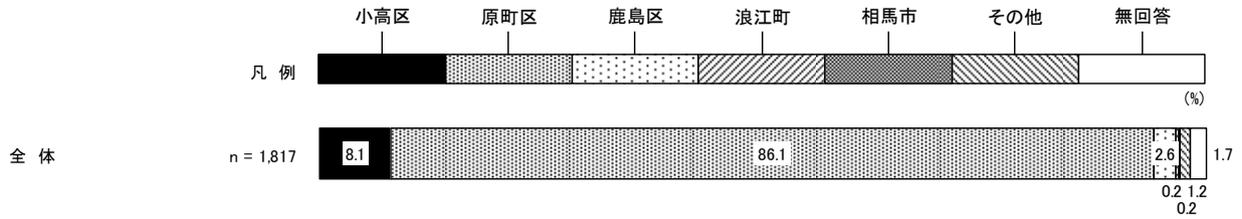


3-3-5 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 10 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-5 現在の主な日用品（食料品・生活用品）の買い物先>

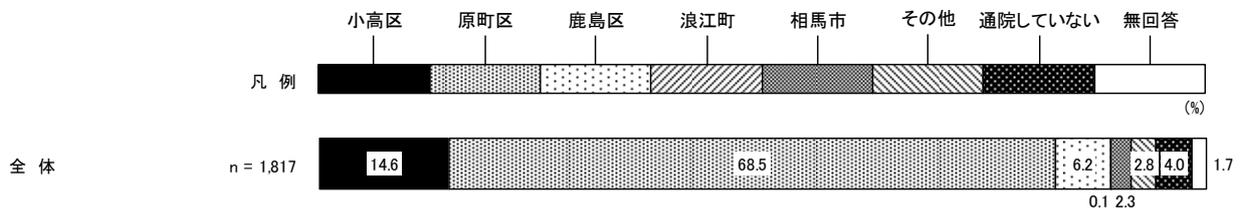


3-3-6 現在の主な通院先

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 11 現在の主な通院先を教えてください。（〇は1つ）

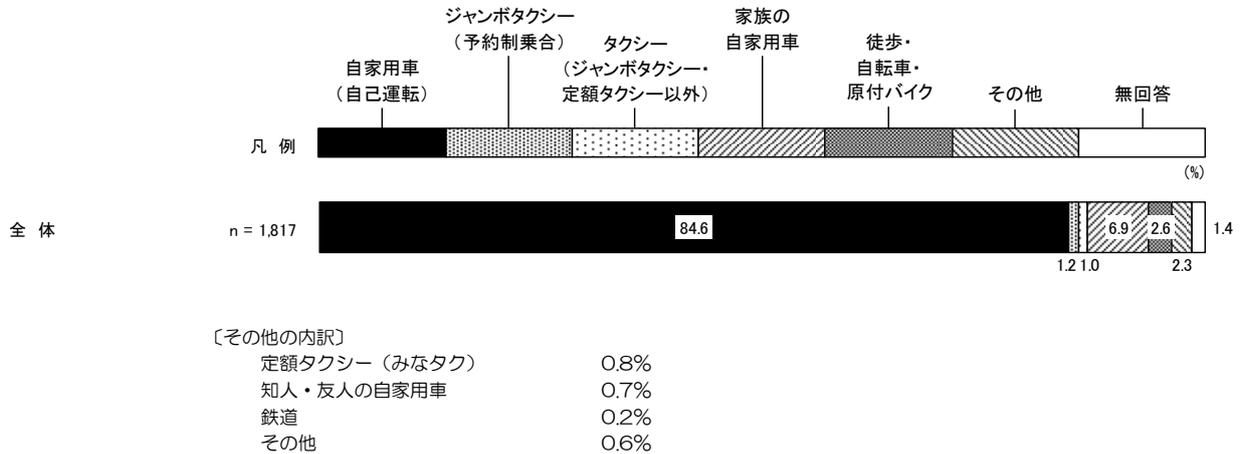
<図表3-3-6 現在の主な通院先>



3-3-7 現在の買い物や通院のための主な交通手段

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】
 問 12 現在の買い物や通院のための主な交通手段を教えてください。（〇は1つ）

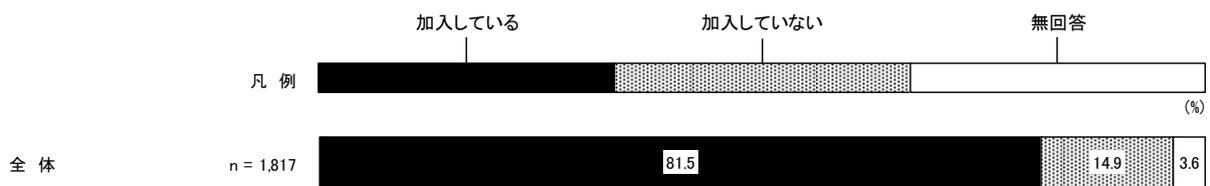
<図表3-3-7 現在の買い物や通院のための主な交通手段>



3-3-8 現在の住まいでの隣組への加入状況

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】
 問 13 現在お住まいの場所での隣組への加入状況を教えてください。（〇は1つ）

<図表3-3-8 現在の住まいでの隣組への加入状況>

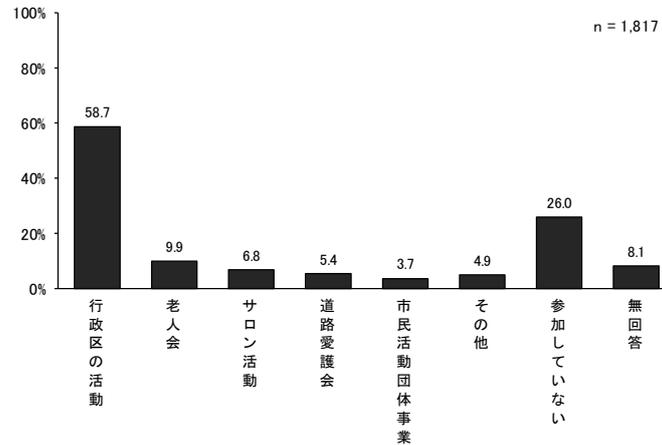


3-3-9 現在参加している地域活動

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 14 現在、地域活動に参加している場合、該当するものを教えてください。（〇はいくつでも）

＜図表3-3-9 現在参加している地域活動＞

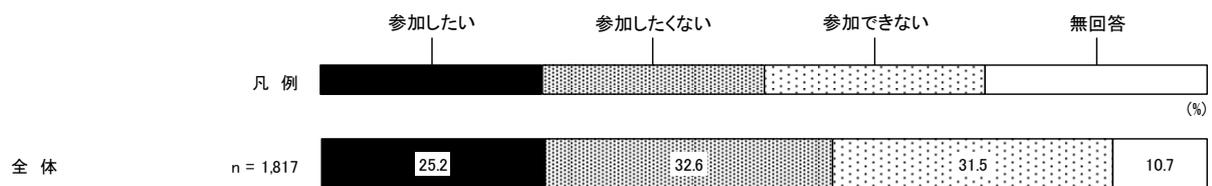


3-3-10 現在のボランティア活動への参加意向

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 15 現在のボランティア活動への参加の意向を教えてください。（〇は1つ）

＜図表3-3-10 現在のボランティア活動への参加意向＞

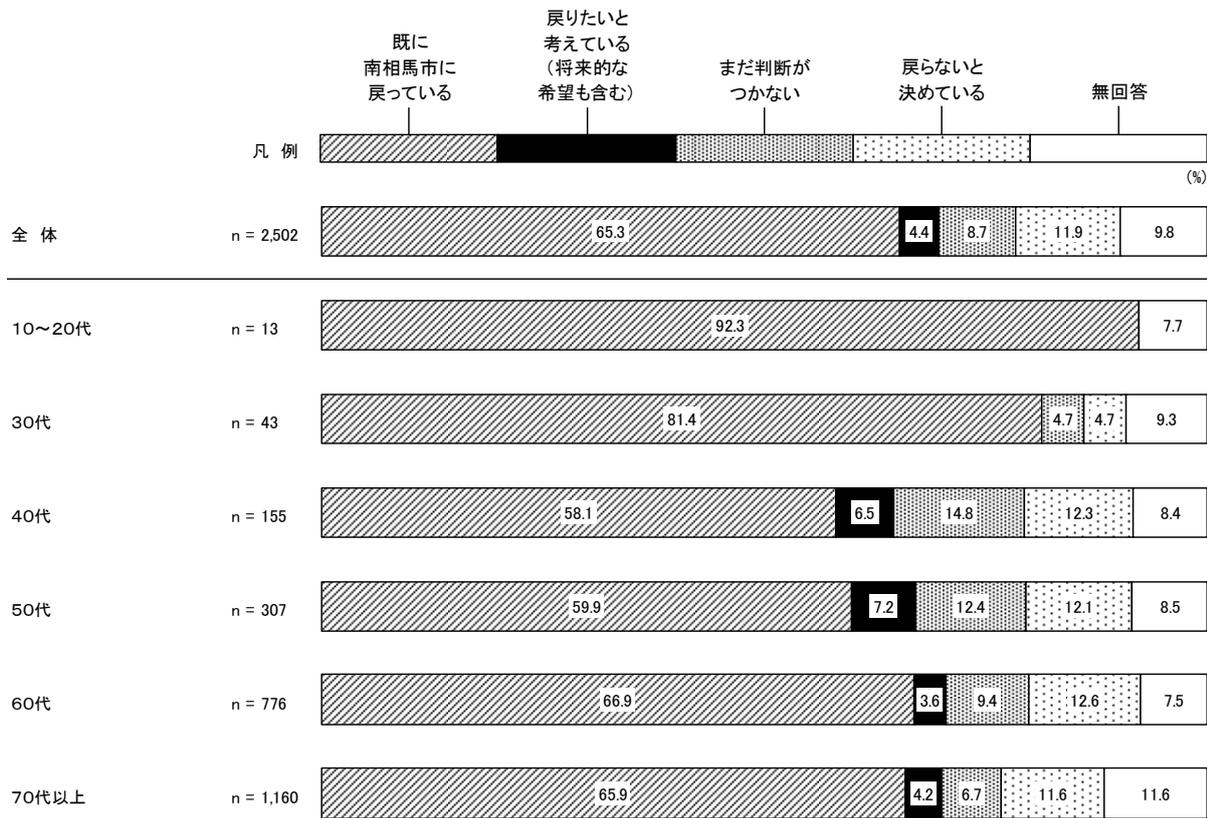


3-4 将来の意向

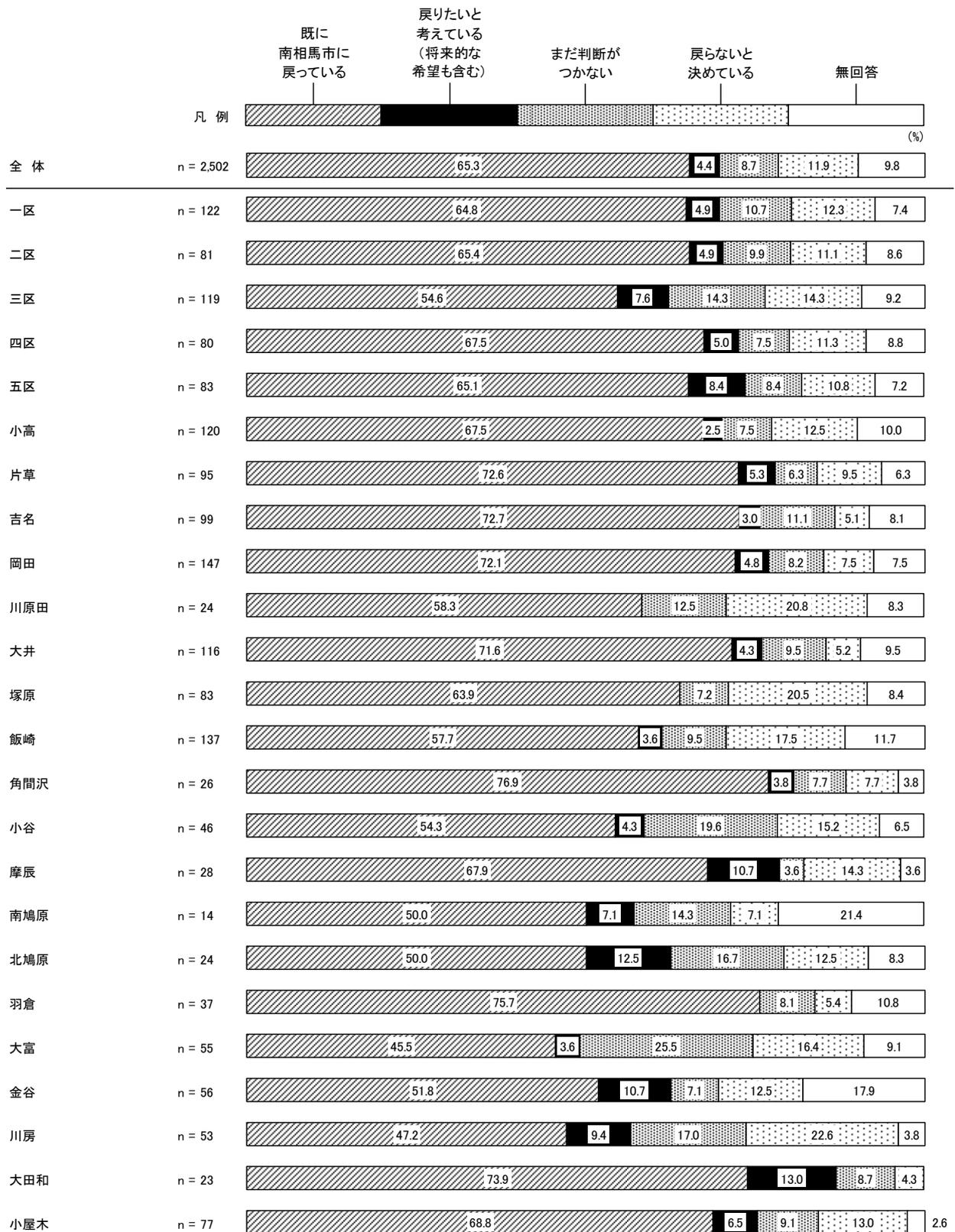
3-4-1 南相馬市への帰還意向

【震災当時、南相馬市内にお住まいだった方に伺います。】
 問 16 南相馬市への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

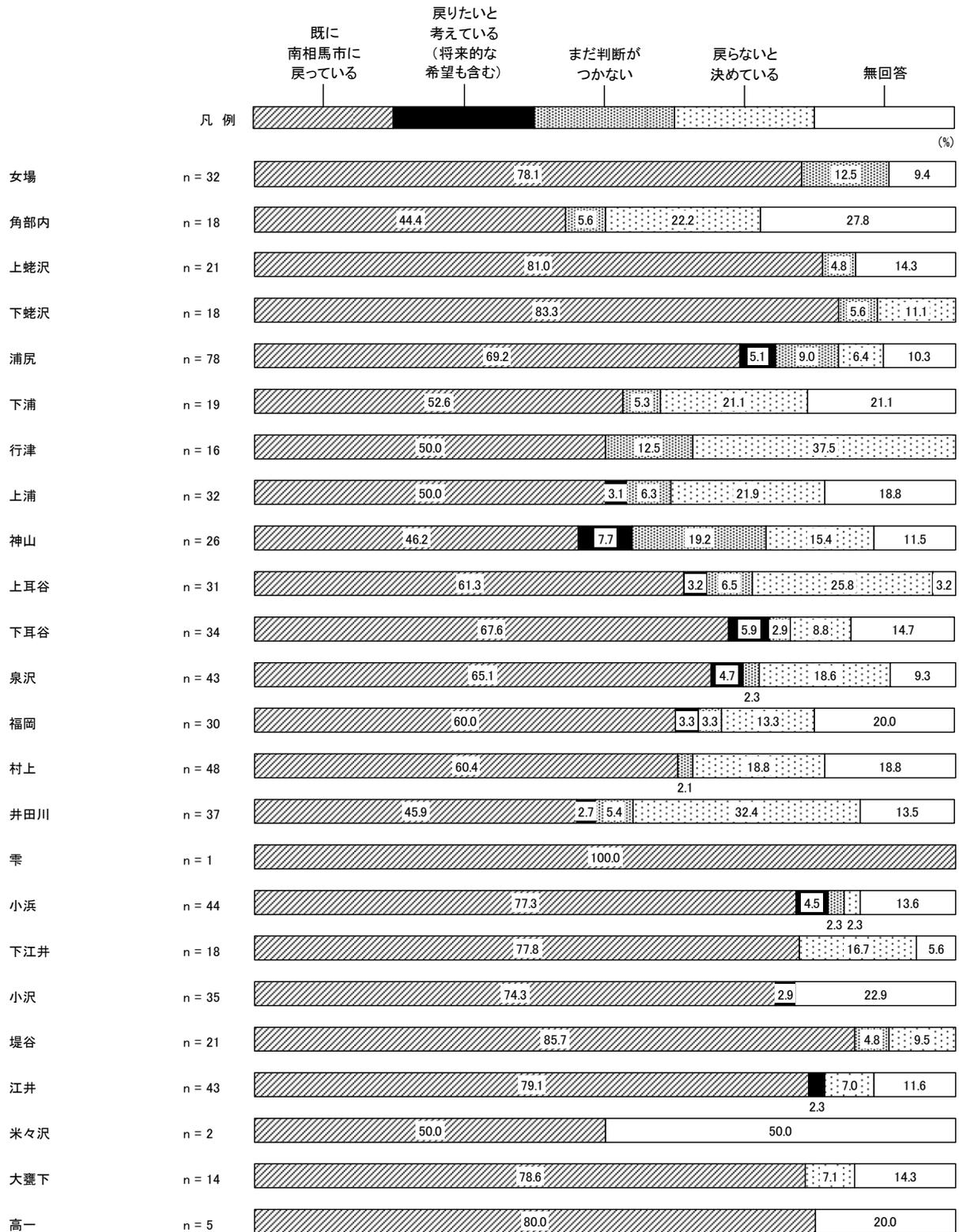
<図表3-4-1-1 南相馬市への帰還意向（年齢別）>



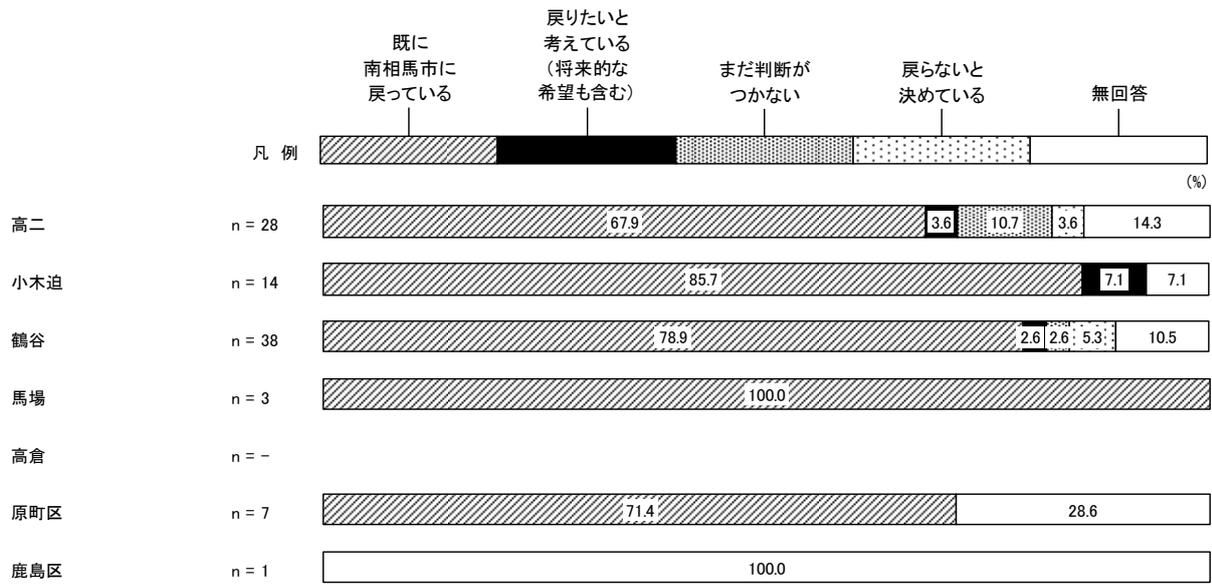
<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



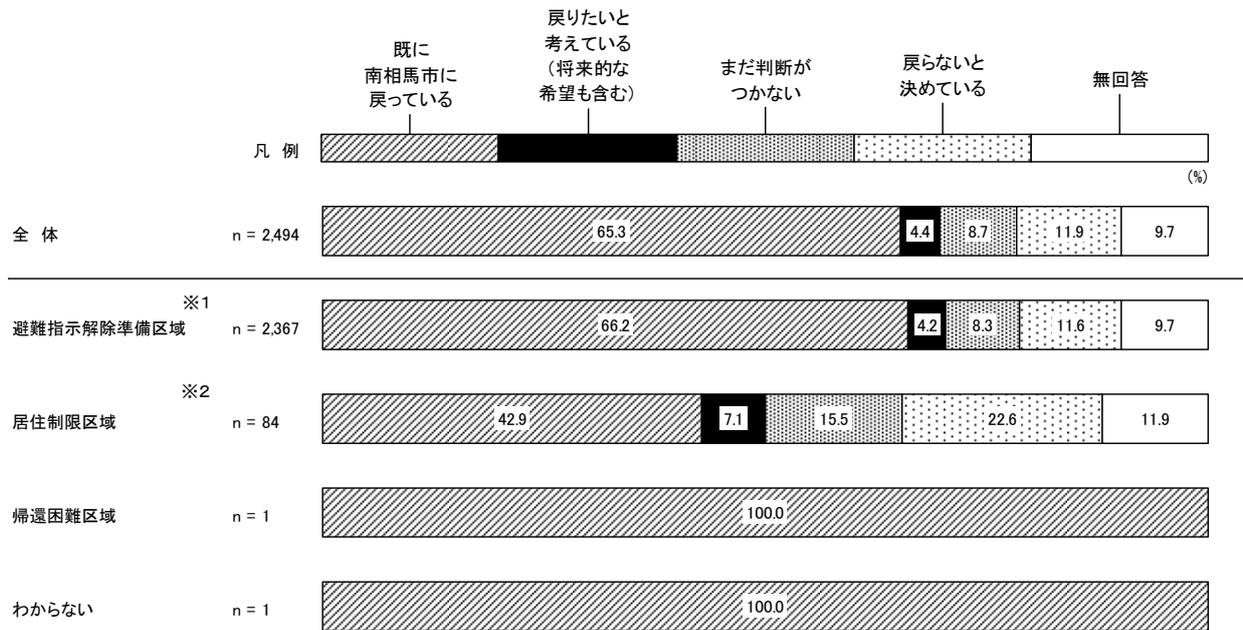
<図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き>



＜図表3-4-1-2 南相馬市への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）続き＞



<図表3-4-1-3 南相馬市への帰還意向（避難指示区域別）>



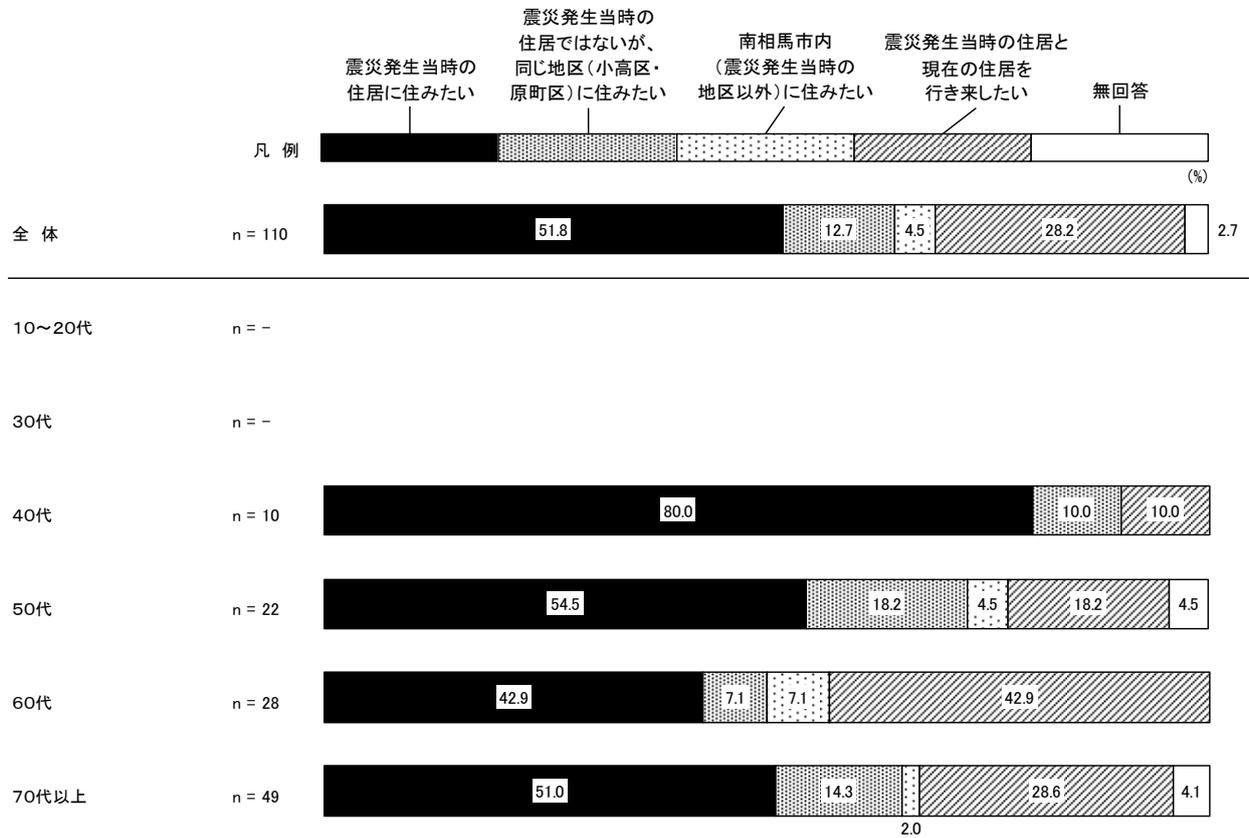
※1 平成28年7月12日に避難指示解除済み

※2 平成28年7月12日に避難指示解除済み

3-4-2 南相馬市での今後の定住先

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 17 南相馬市への今後の定住先について、現時点でどのようにお考えですか。（〇は1つ）

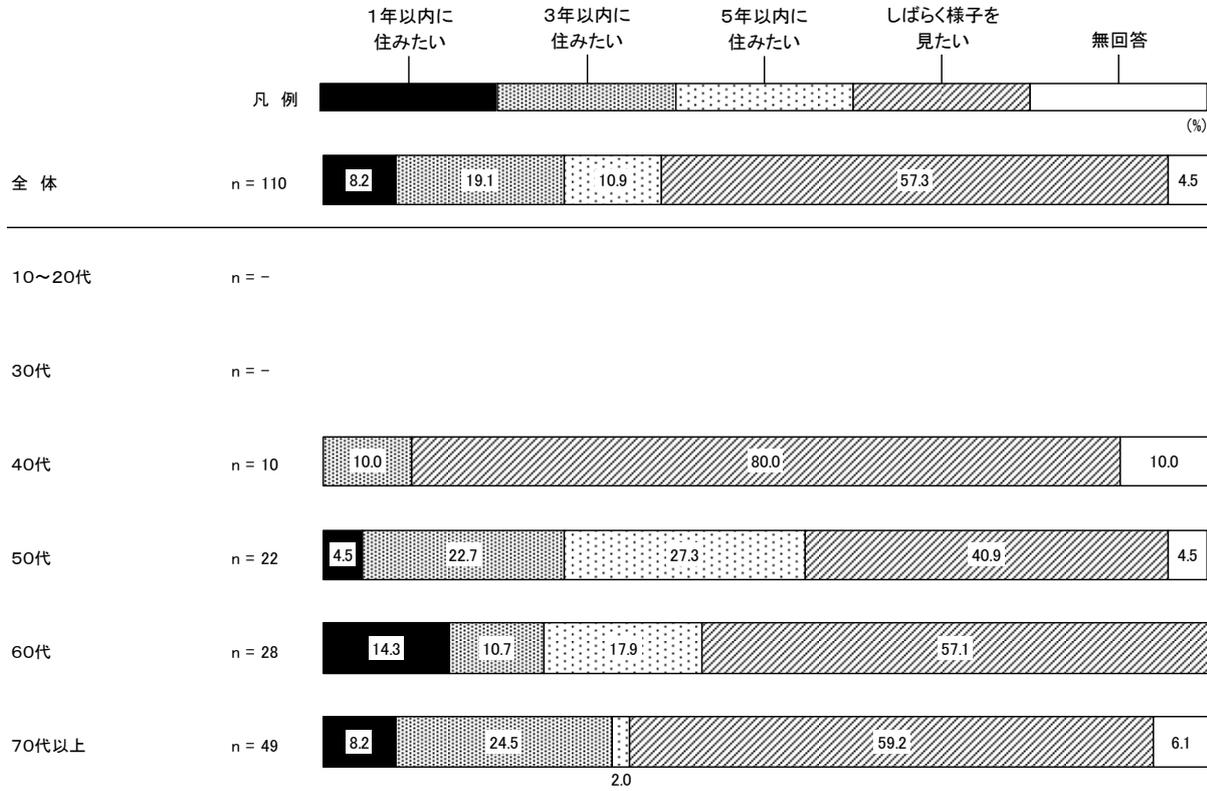
<図表3-4-2 南相馬市での今後の定住先（年齢別）>



3-4-3 南相馬市への帰還時期

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 18 現時点での住みたい時期についてお聞かせください。（○は1つ）

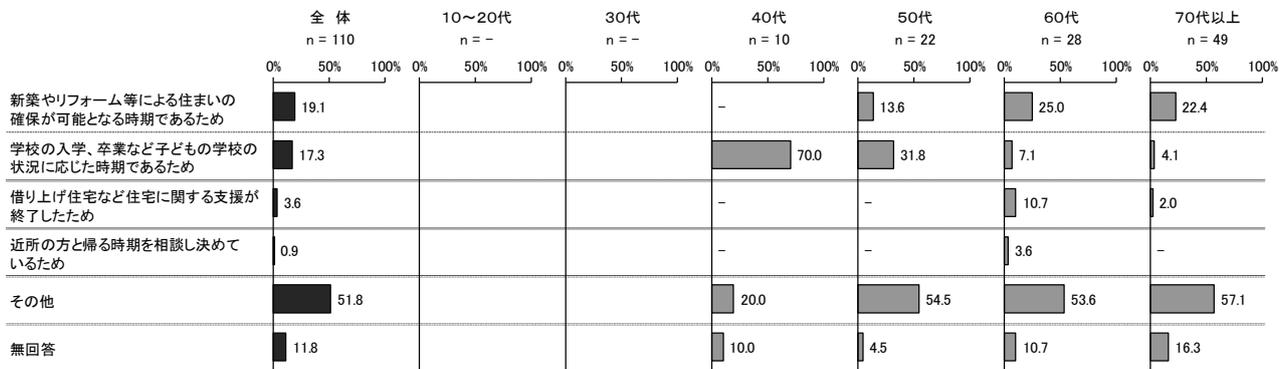
<図表3-4-3 南相馬市への帰還時期（年齢別）>



3-4-4 南相馬市への帰還時期の理由

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方に伺います。
 問 19 「住みたい時期」の理由についてお聞かせください。（〇はいくつでも）

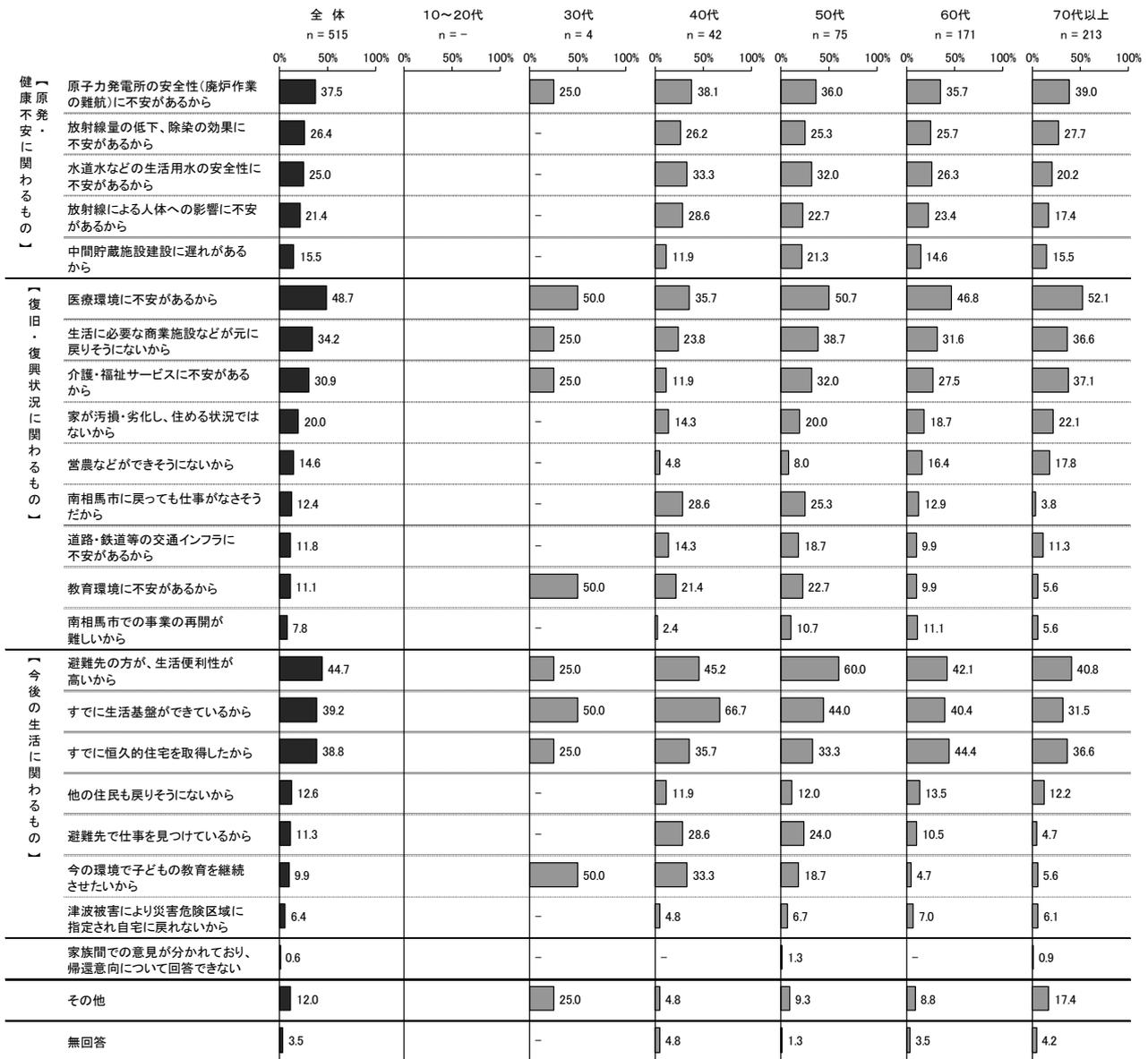
<図表3-4-4 南相馬市への帰還時期の理由（年齢別）>



3-4-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】
 問 20 南相馬市への帰還について、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由を教えてください。
 （〇はいくつでも）

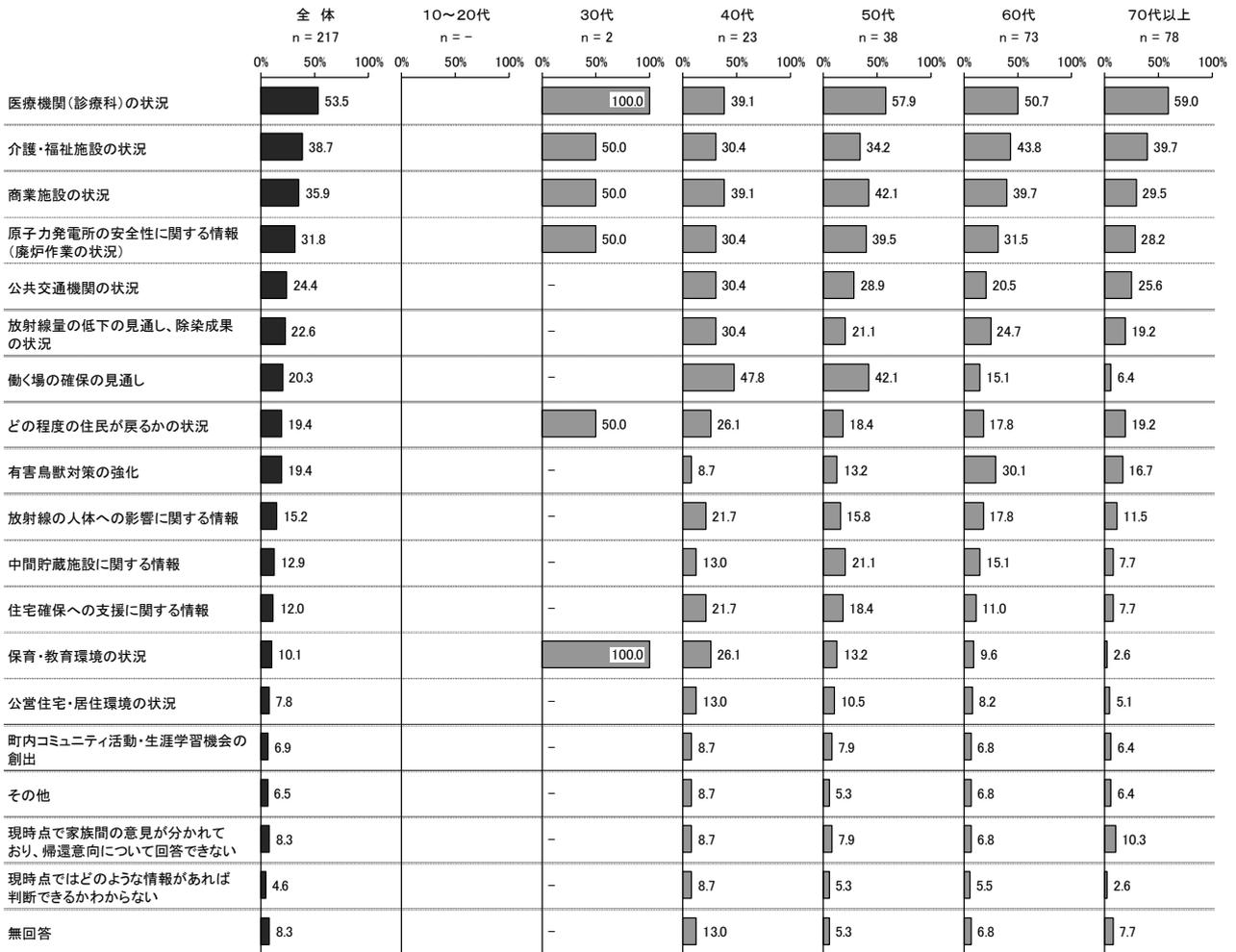
<図表3-4-5 南相馬市への帰還についてまだ判断がつかない、帰還しない理由（年齢別）>



3-4-6 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】
 問 21 南相馬市へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。（〇はいくつでも）

<図表3-4-6 南相馬市への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>

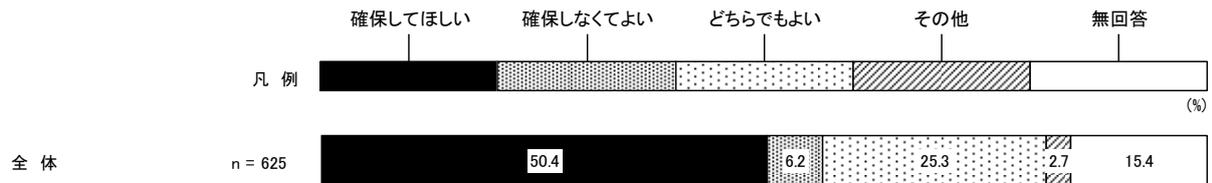


3-4-7 避難先自治体における健（検）診受診の機会確保の希望

【市外に避難をしている方（問 16 で「2. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方）に伺います。】

問 22 避難先の自治体で、引き続き健康診査や各種がん検診を受診することができるよう、健（検）診受診の機会を確保してほしいか教えてください。（〇は1つ）

<図表3-4-7 避難先自治体における健（検）診受診の機会確保の希望>

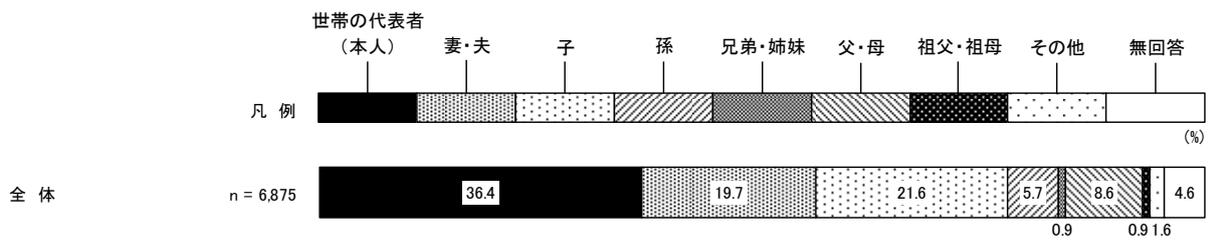


3-5 全世帯員の意向

3-5-1 世帯の代表者との続柄

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（表1 世帯の代表者との続柄）

<図表3-5-1 世帯の代表者との続柄>

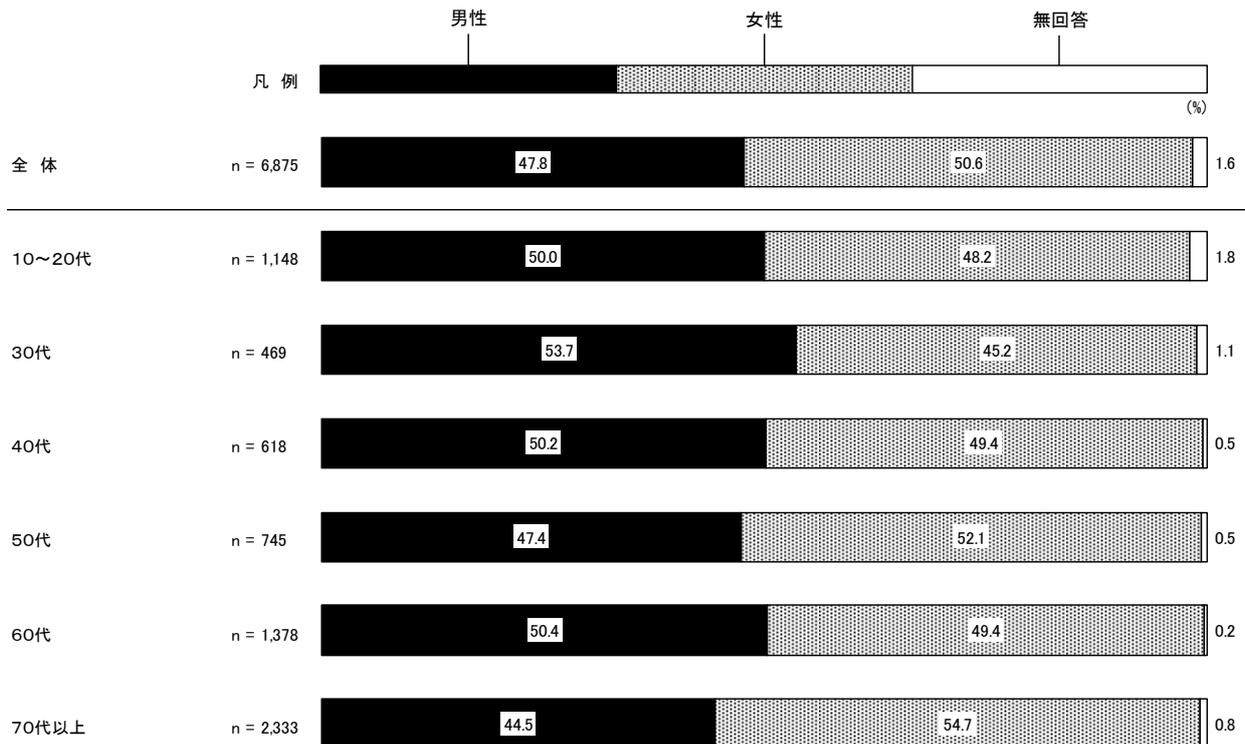


3-5-2 性別

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（性別）

<図表3-5-2 世帯全員の性別（世帯全員の年齢別）>

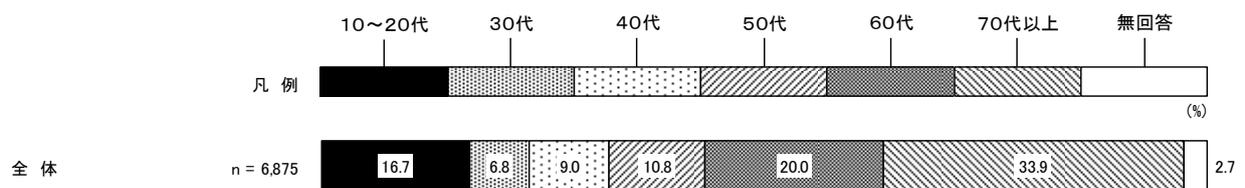


3-5-3 年齢

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（年齢）

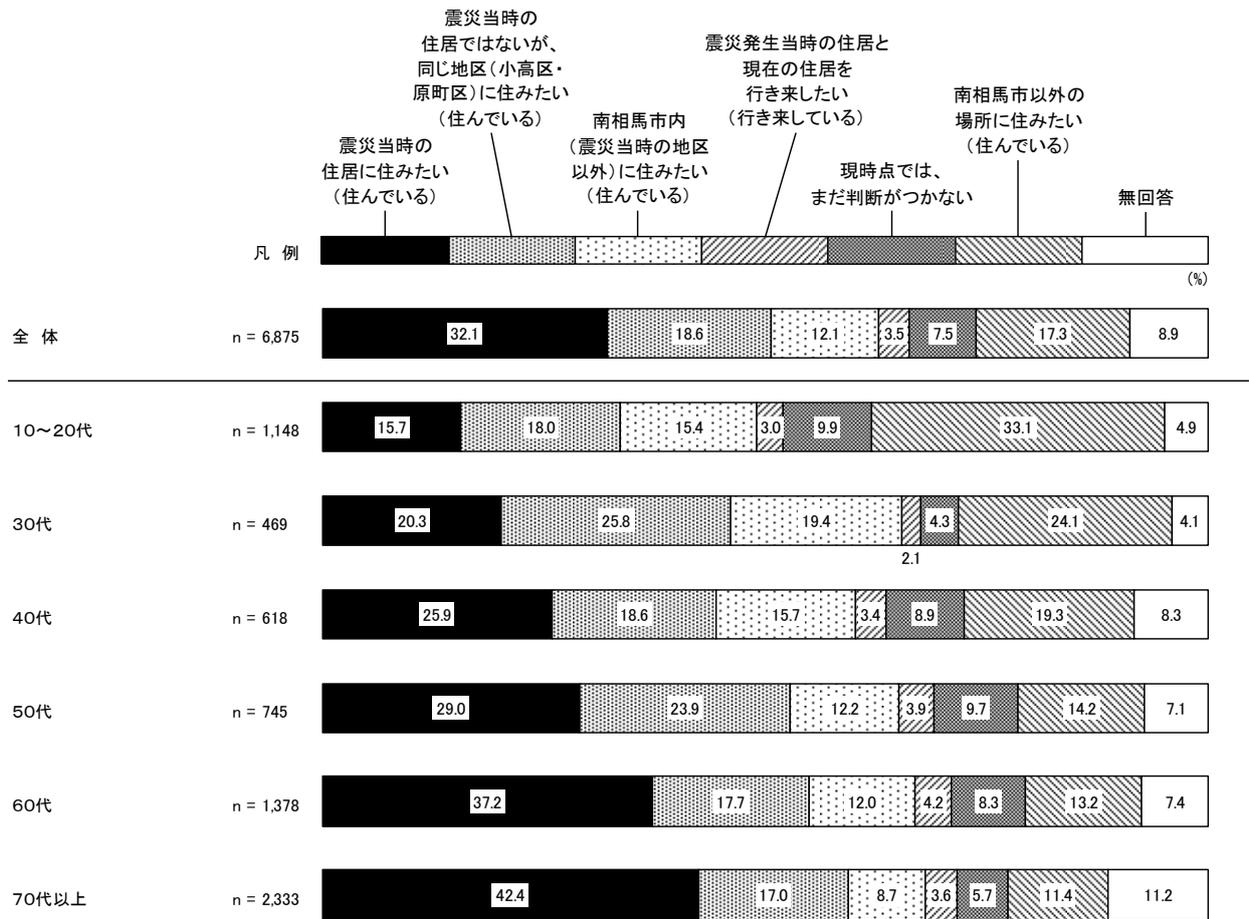
<図表3-5-3 世帯全員の年齢>



3-5-4 今後の住まいの意向

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】
 あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（表2 今後の住まいの意向）

<図表3-5-4 今後の住まいの意向（世帯全員の年齢別）>



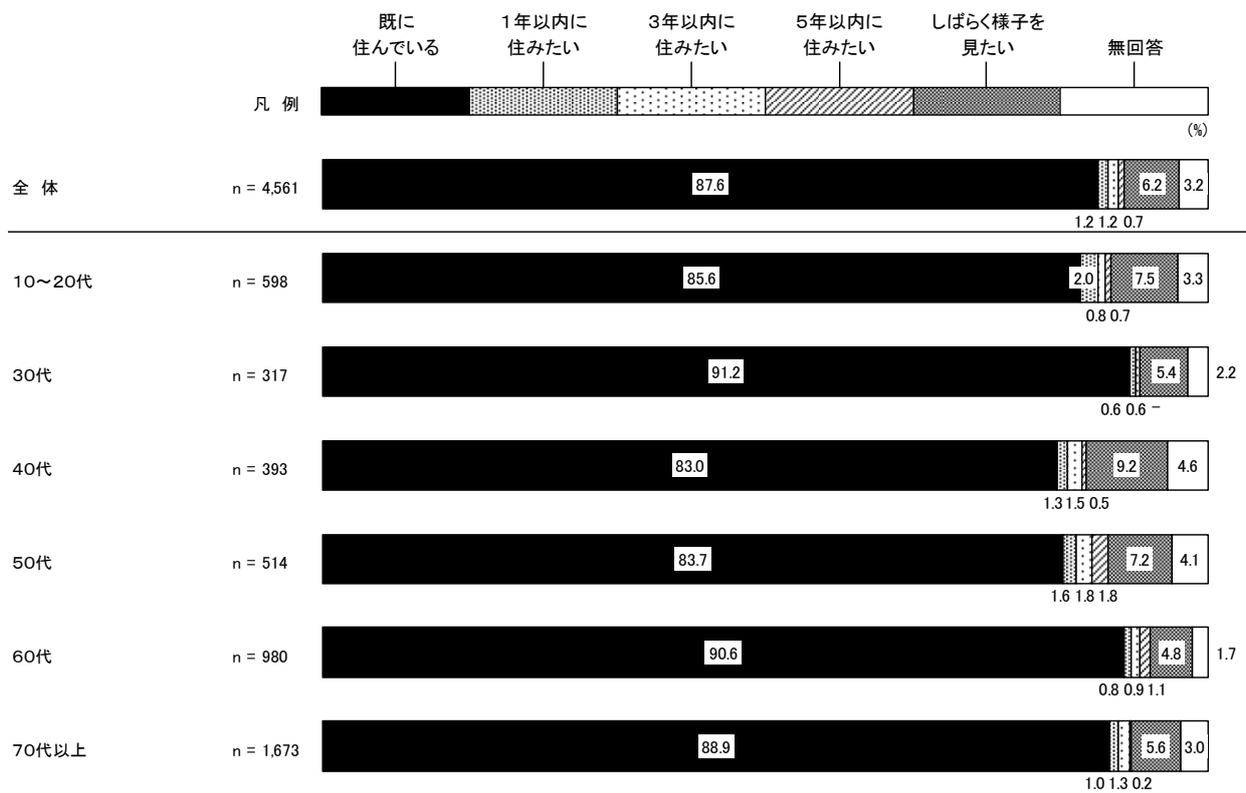
3-5-5 南相馬市への帰還時期

【震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。】

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。（表3 南相馬市に住みたい時期 ※表2で1～4を選んだ方のみ回答）

- *表2： 1. 震災当時の住居に住みたい（住んでいる）
 2. 震災当時の住まいではないが、同じ地区（小高区・原町区）に住みたい（住んでいる）
 3. 南相馬市内（震災当時の地区以外）に住みたい（住んでいる）
 4. 震災発生当時の住居と現在の住居を行き来したい（行き来している）

<図表3-5-5 南相馬市への帰還時期（世帯全員の年齢別）>



3-6 意見・要望

問 23 市の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望、国、県、市への要望などをご自由にお書き下さい。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、1,174 世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

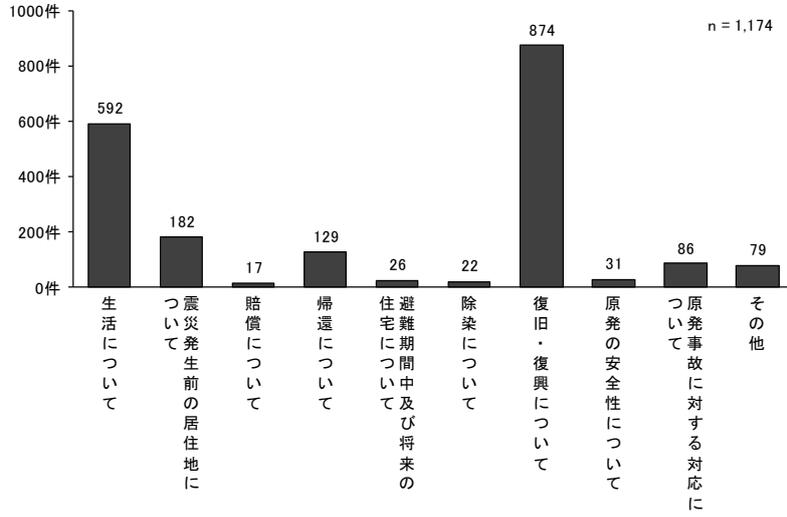
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> 元の生活、安定した生活の回復 元の生活に戻ることについてのあきらめ 現在の生活について 現在の生活の人間関係・コミュニティについて 現在の生活の経済的な不安について 現在の生活の健康に関する不安について 現在の生活の仕事・学業に関する不安について 現在の生活全般の不安について 将来の生活に関する考えについて 将来の生活の経済的な不安について 将来の生活の健康に関する不安について 将来の生活の仕事・学業に関する不安について 将来の生活全般の不安について 生活（再建）支援について その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> 除染作業の効果等について 除染作業の実施箇所等について 除染作業の早期・迅速・的確な実施について 除染産廃物の処理について その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰還困難区域への立入りについて 所有する住まい・土地の買取りについて 自宅の現状（被害状況）について 自宅の再建・改築・解体について 元の住居や土地等の管理・処分について 元の住居や土地に対する税について 所有する墓地の維持・管理・移転について その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> 復旧・復興の遅れ、長期化について 復旧・復興のスケジュールについて 復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ライフライン・インフラの整備について 社会福祉施設の整備について 医療施設の復興・充実について 学校の復興・充実について 商業の復興・充実について 住民の参加・自助努力について 早期の原状回復・復興実現について その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> 賠償内容・方法について 賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について 所有する住まい・土地に対する賠償全般について その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃炉作業の迅速な実施について 廃炉作業全般について その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰還への不安 帰還したい 帰還しない 現時点では帰還の判断ができない 帰還に関する施策について 帰還を望まない人への対応について その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政や東電の対応について 対応の長期化、遅れについて 情報の開示・発信について その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> 復興公営住宅の建設地・形態等について 復興公営住宅に係る経済的負担について 復興公営住宅への入居について 居住場所の確保について 住宅の購入について 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後のエネルギー政策について 行政に対する謝意、励まし その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

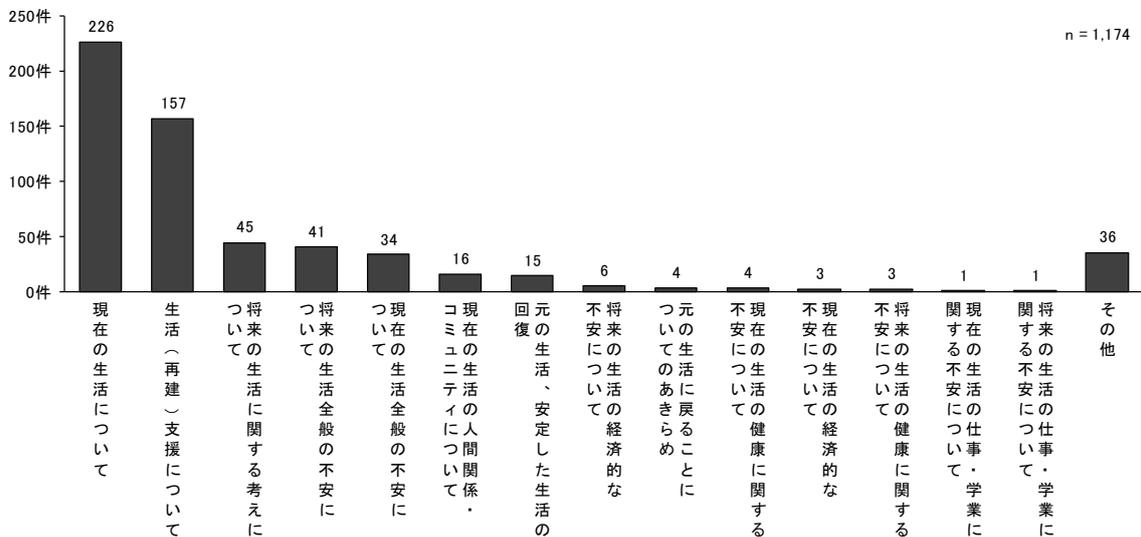
3-6-1 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-6-1 意見に係る記入内容の分類結果>



3-6-2 生活について

<図表3-6-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【現在の生活について】

- ・小高区に住み4年目になります。無人の家に少しずつ灯火が点き、施設の充実を感じます。（10～20代）
- ・道路整備や高速道路が繋がったことで生活しやすくなったと思う。（30代）
- ・年に何回か、自宅（小高区）に帰りますが、駅通りの商店など自宅の周りの環境がすっかり変化し、生活感が全く感じられず言葉になりません。（60代）

【生活（再建）支援について】

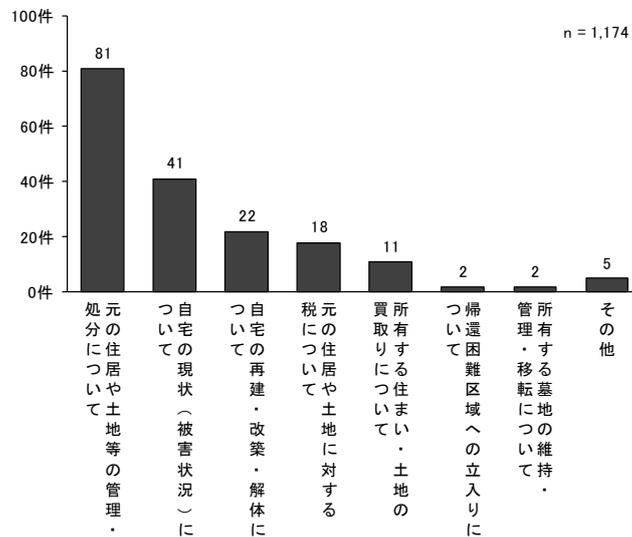
- ・子どもの遊び場等、子育てに関しては充実していると思う（保育園無料などお金の面も）。（30代）
- ・医療費、高速利用の免除はとても助かっています。保険料免除縮小の見直しは当然のことかと思えます。医療費、高速利用免除の件は段階的に負担を戻してほしい。（40代）
- ・災害が多いので防災グッズなどを高齢者の方へ配布していただきたいと望んでおります（有料でもOK、1セットにして）。（70代以上）

【将来の生活に関する考えについて】

- ・南相馬市に戻ったといっても、私一人だけで、仕事や学校の関係で震災当時同居していた家族もまだ合計4ヶ所で生活しています。まだ復興できているという気持ちにはなっていないが、現状を受け止めて復興を目指し生活していきます。（10～20代）
- ・兼業農家で田畑での収入も得て生活していたが、今は後継者も居らず、自分も年を重ねていく為、営農での生活を支える事は無理なので、太陽光設置で土地活用をしたい。（60代）
- ・現在、元の住所で生活しているが、営農支援事業の要件が厳しくなっている。営農再開できなければ、この不便な地で生活する意味がないので他に移転する。（70代以上）

3-6-3 震災発生前の居住地について

＜図表3-6-3 震災発生前の居住地についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【元の住居や土地等の管理・処分について】

- 以前の住宅を取り壊しても土地の買い手は見つからないだろうし、子供達へ負の財産として残ることが不安です。植木・除草等をしなくてはならないので時間も労力もかかります。国が希望者を募り、買取りしてもらえないものでしょうか。（50代）
- 空地の管理を持ち主任せにしない、もしくは徹底して持ち主に指導をして除草やゴミの廃棄を促し、街中を美化して欲しい。（60代）
- 小高区から原町区に移り住み、小高区の住宅、田畑をこれからどうすれば良いのか不安です。（70代以上）

【自宅の現状（被害状況）について】

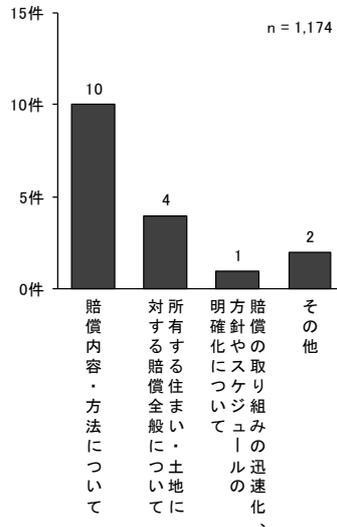
- 住んでいない家の荒廃が年々酷くなっている。草が伸びたり、木が生えてきたり、家の壁が腐って剥がれて飛んできたり。動物が庭に棲んでいたりする。（40代）
- 今住んでいるところを修理して住んではいるが、よく見ると柱も傾いているし、一度障子を貼り替えるために外したが、調整しないと入らない状態で東電さんからの補償の中では難しく困っています。地震で揺れるととても怖い。（60代）
- 自宅周囲の更地、田などの雑草が背丈以上にのびのびになっていて困っています。（70代以上）

【自宅の再建・改築・解体について】

- 家族の反対で解体し損ねた家屋が残っており、現在は老朽化して獣が入り込み、とても人が住める状態ではなくなってしまった。今では解体を反対した家族も壊さなかったことを後悔しているのでもう一度、無償で解体する機会を与えて欲しい。いつかはその場所に家を建ててまた小高に住みたいと思っている。（40代）
- 南相馬市にある自宅の修繕等の支援は期限を設けずに助けて欲しかった。気持ちがまとまるのにもそれぞれ掛かる時間は違う事を理解した対応をして欲しかった。（50代）
- 震災発生当時の住居が野生動物の侵入等による汚損や経年劣化による損傷があり、残念ながら解体を考えております。解体費用の助成を要望いたします。（70代以上）

3-6-4 賠償について

<図表3-6-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[賠償内容・方法について]

- 東電の賠償金が帰還者に偏っている。これから帰還する者にも厚く手当てをしてほしい。(60代)
- 月1人10万では少なすぎる。これからの生活を考えると不安。(60代)
- 汚染水で魚介類の消費が落ち込んだものは、一次的に政府が買い取るなど税金でなく東電が負担すべき。(70代以上)

[所有する住まい・土地に対する賠償全般について]

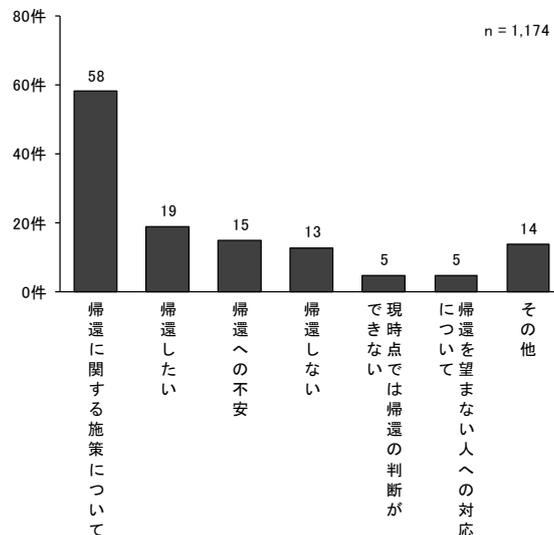
- 津波被害地区、特に下浜佐、小沢地区は戻りたくても戻れないのだから、無償で代替土地を与えてもいいのでは。(50代)
- 国での退去命令が出れば、それだけの補償があるのに全くなかった。防風林などの土地の買い上げは安くこれからの生活が大変です。(60代)
- 精神的慰謝料を除く、農地、宅地、財物等の賠償が避難指示解除の平成28年7月12日で打ち切られ(83%の賠償にとどまっている)、不満である。(70代以上)

[賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について]

- 避難先で生活が確定した個人、家族が帰郷できるようあらゆる準備が必要。国、県、東電は具体的な計画と補償、保障をすることが重要。(60代)

3-6-5 帰還について

＜図表3-6-5 帰還についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【帰還に関する施策について】

- 避難されている方々の多くは避難先において生活基盤ができてしまっているため、帰還ということがあまり現実的では無いように思います。積極的な企業誘致やスマートシティといった魅力的なまちづくりにより、新たな人の流れが必要なのではないでしょうか。（50代）
- 仕事を震災前と同様に続けるため戻るのは当然と思うが、年金生活であれば、わざわざ生活インフラの整っていない所に戻りたくはないと思う。公設民営でも生活インフラは第一に整えるべきだ。（60代）
- 中期的に見て、震災前より住みやすい地域になると考えています（+期待値あり）。若者が戻る施策をお願いします（仕事、子育て環境など）。地域で実施していた農道・市道・水路等の手入れが人手不足で出来ない場合は公的援助を！（70代以上）

【帰還したい】

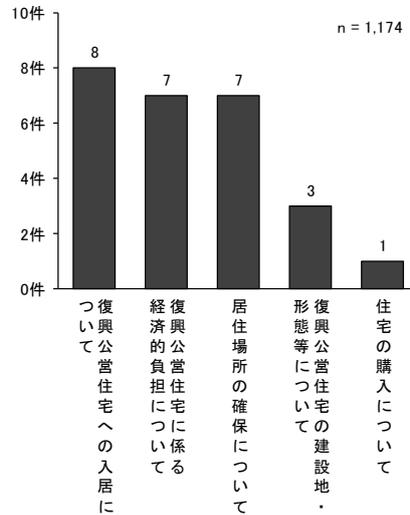
- 生まれ育った町なので戻りたい気持ちは強い。でも子供を連れて戻ることは難しいと考えている。同じ考えの方は少なくないと思う。（50代）
- 南相馬市に戻りたいと思っているので、廃炉を進め、安心して暮らせる様にしてほしい。（60代）
- いつも帰りたいたと思っていますが、家を新築するにも遠いため、家の中の整理がなかなか出来ません。こんな時に災害住宅を借りる事が出来ればと思います。（70代以上）

【帰還への不安】

- 店も少なく、労働（就労）場所も少なく、すぐ戻ろうという考えにたどりつかない。高齢者多数で心配だが、子供が独り立ちするまで待って地元に戻りたい。（40代）
- 被災時の住居に戻りたい気持ちもあるが、現時点で高齢者しか戻っておらず、今後自分たちしか居住しない状態になってしまう事を考えると戻る事は難しい。（50代）
- 時々家には行くが、まず目にするのはイノシシの被害と、草が伸びるのが早く追いつかない。ここで本当に生活が出来るのか疑問です。（70代以上）

3-6-6 避難期間中及び将来の住宅について

<図表3-6-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復興公営住宅への入居について】

- ・復興住宅に入居したい（現在住んでいる近く）。現状、南相馬には戻れないので、南相馬の外での復興住宅探しがわからない。（40代）
- ・県営の復興住宅には申込みできるようですが駅や病院からは遠いため考えにくいです。（60代）
- ・今住んでいる復興住宅に居られるよう希望する（今のままでの状況で居られる事を望む）。（70代以上）

【復興公営住宅に係る経済的負担について】

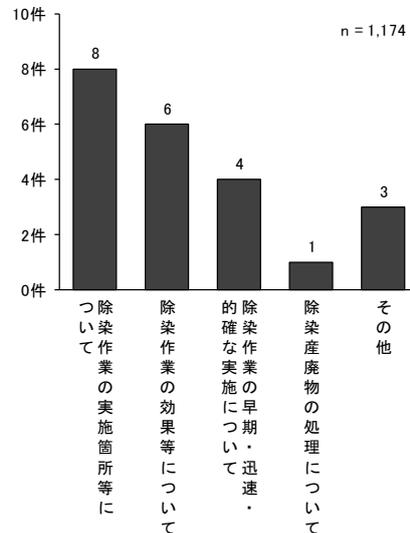
- ・復興公営住宅の賃料が高い。（50代）
- ・県の復興団地に居ましたが、家賃が上がり住めないことになり、出ました。何が復興か分かりません。（50代）
- ・復興団地とはいえ家賃負担が多すぎないか。（60代）

【居住場所の確保について】

- ・今は社宅に1人で生活していますが、良い住宅（安くて綺麗）があれば妻を呼び寄せて、一緒に生活したいと思っています。空家や空地进行を有効利用する意味で永住者に対して、安価や無償で貸出ししてくれれば、すぐにでも妻と一緒に生活したいと思っています。（50代）
- ・震災、原発事故により仕事をする場所も変わり、小高に戻りたいとか、戻りたくないとかというより日々生活していくため居住地を他の地域にしなくてはならなかった。（50代）
- ・今計画が進んでいる産業団地の計画と共に、街中に戸建の店舗兼住宅を作り、商売を始めたい人に貸し出すとか若者向けの住宅を作り、売り出す。（70代以上）

3-6-7 除染について

＜図表3-6-7 除染についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染作業の実施箇所等について】

- 森林・里山の放射能除染をしっかりとして下さい。せめて春には山菜、秋にはきのこや自然からいただける食材を楽しめる野山にして下さい。（60代）
- 山、川、海の除染が第一です。住民が帰らないから除染しない、除染しないから帰還しない。どちらが正しいのでしょうか。安心できる町に戻りたいのです。（70代以上）
- 山林に入る作業があったが、除染がなされておらず作業ができない。（70代以上）

【除染作業の効果等について】

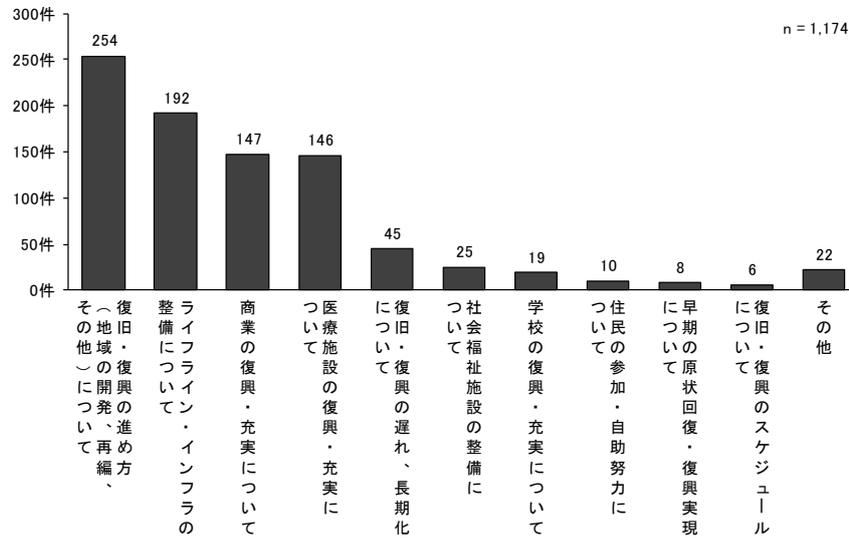
- 畑のセシウムが気になる。最近、食品検査に野菜を出すと、以前より数値が大きくなっている（ハウス内の土からも検出されるようになった）。（60代）
- 先日放射線量を測定しましたが、自宅の庭で1時間の線量が1.2マイクロシーベルトありました。（70代以上）
- 放射線量と除染の効果が未だに不安があり、人体への健康に何年後に影響がでるのか不安になる。（70代以上）

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 山林を含めて全地域を除染してほしい。（70代以上）
- 放射能汚染を収束させてほしい。安心して暮らしが出来ることを願います。（70代以上）
- 放射能汚染を可能な限り除去してほしい。現状は、未だにまだらになっている。日頃立ち入る山林や林道の除染に努めてほしい。（70代以上）

3-6-8 復旧・復興について

<図表3-6-8 復旧・復興についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

〔復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について〕

- 区によって大きな差を感じる。再整備された土地の有効的な活用が出来ておらず活気を感じない。また防災への意識が薄いのではないだろうか。（10～20代）
- 故郷小高は建屋・公共施設等は震災前より充実しているが、若手層の帰還が少ない。高齢化が急速に進み、今後年月が経過すると住民減少が著しくなる。若手層が住みたくなるような施策が必要となると思う。企業誘致、特色のある教育環境等行政の思い切った復興策、活性化策を期待したい。（40代）
- 南相馬市だけではなく、浜通りの各自治体が連携しなければならないと思います。現状は、各自治体で似たような施設を作って、集客しようとしているので意味がない。また、居住エリア、工場エリア等制限をする事により、無駄なインフラを作らない事も検討するべきだと思います。（50代）

〔ライフライン・インフラの整備について〕

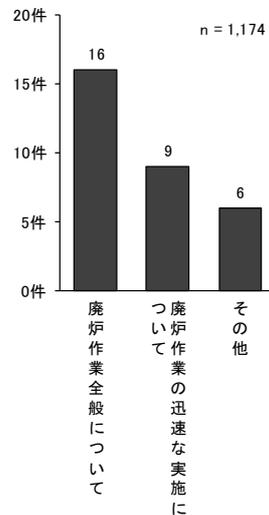
- 免許を返上しても、暮らしに影響が出ないサービスをより充実させて欲しい。今も乗合タクシーなどあるが無料化など高齢者が利用しやすくなる環境を整備して欲しい。（30代）
- 水道水は、命の源です！民間企業や外資などに任せず行政で責任を持って、管理、運営の継続をお願いしたいです。（40代）
- 幹線道路以外の市道、農道、水路の未整備の上に、害獣による被害が後を絶たず、未整備の田畑にはアクセスもできず、益々荒廃している。これらは獣の棲みかを増やすことになっている。立派な箱物に予算を使う前に、郊外のインフラや自然環境維持にその予算を充ててほしい。（60代）

〔商業の復興・充実について〕

- スーパーや商業施設の営業時間をもう少し遅くまでにしてほしい。（10～20代）
- 日用品、食料、医薬品等スーパーやドラッグストアなど、土日営業の店が必要。（50代）
- 今後、医療環境、生活に必要な商業施設が現在のままだと小高→原町まで出掛けなければならないので先々年齢を重ねていった時に不安がある。（60代）

3-6-9 原発の安全性について

<図表3-6-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

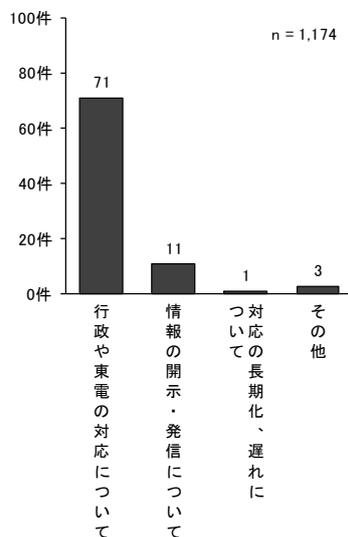
- 原発の安全性、廃炉の問題、早期解決が必要。（50代）
- 東京電力には廃炉に向けて技術者の育成、完全なる安全第一で臨んで欲しい。（60代）
- 第一原発廃炉が終わるまで空間線量の増加が気になる。廃水対策（海洋放出）、きちんとした国等の説明及び対処、安心できる海産物（近海物）の流通を望む。（70代以上）

【廃炉作業の迅速な実施について】

- 原発廃炉を早くして、もう一度除染をして下さい。デブリがある限り何も始まらない。（50代）
- 原発廃炉を速やかに行い、放射能汚染を収束させてほしい。（60代）
- 国の原発の廃炉対策が十分でなく不安が続く。第二原発も早く廃炉にしてほしい。汚染対応も満足できない。（70代以上）

3-6-10 原発事故に対する対応について

＜図表3-6-10 原発事故に対する対応についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- 南相馬市は他の双葉郡と比べて避難者に対して支援が足りないと思う。（４０代）
- もっと地域（地元）で暮らす住民の意見を聞き入れて欲しい。協議の場や機会が少なすぎる！住民の為に、住民主体とした予算使用をして欲しい。（６０代）
- 国は住民に対し、上辺だけの調子の良いことだけを言わず、きちんと専門家に調べてもらい、将来への道筋やどうしたら廃炉に持ちこめるのか本気で考えてもらいたい。山や川、そして私たちの住む土地。時間をかけても良いので元に戻してもらいたい。（７０代以上）

【情報の開示・発信について】

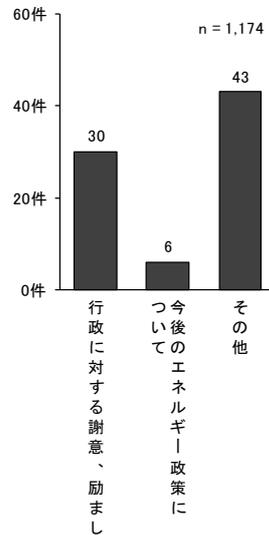
- 原発の状況が不安定であり、当時国は原発の状況をメルトダウンしていないと強調していました。常に真実の情報を発信していただきたいです。（６０代）
- 福島第一原発の本当の収束と廃炉に関わって、国も、県も、市も随時それぞれ独自の責任を持った検証をし、市民、県民、国民に報告すること。（６０代）
- 最近の東電現場の現状の様子が報告されていません。対策工事や放射性物質等の拡散など住民への情報提供はどうなっているのでしょうか。学習センターなどの計量器設置掲示のみでは不十分で心配です。（７０代以上）

【対応の長期化、遅れについて】

- 復興に対してまだまだ不十分であると思う。東電の完全な安全確認が出来ていないのに復興はありえないと思う。いつまたあのような事が起きるかわからない状況で不安である。（６０代）

3-6-11 その他

<図表3-6-11 その他についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 日頃の市の取り組みは感服致します。自分達でできる範囲で貢献しようと思って、外食や買い物は市内に出向いています。（50代）
- 市職員の方々は日々努力されているのは見えています。大変御苦労様です。（60代）
- 震災から10年過ぎたとはいえ、ここまで生活するに対してあまり不便さを感じない程復興し、前に進むことが出来たと、国、県又は市に対しても、大変な苦労だったろうと思って感謝しています。（70代以上）

【今後のエネルギー政策について】

- 国に対して、福島第一原発事故を受けても尚、エネルギー政策を見直そうとしていない事を腹立たしく思います。（50代）
- 太陽光発電、自然エネルギー開発を大いに進めて欲しい。（60代）
- 原発はなくして欲しい。（70代以上）

IV 參考資料

4-1 使用調査票

南相馬市 住民意向調査

● 調査をお願いする方

- ・ 震災発生時、南相馬市の避難指示区域内に住民登録していた世帯の代表者の方または令和3年8月1日時点で南相馬市の避難指示区域内に住民登録のある世帯の代表者の方をお願いいたします。

● 回答方法

- ・ ご回答は、選択肢の中からあてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・ ○をつけた回答の後ろに()がある場合、()内に具体的な内容もご記入ください。
- ・ ご回答は、記入する日時点の状況について、お答えください。

● 個人情報の取り扱いについて

- ・ 調査票に記載いただいた個人情報は、南相馬市、福島県及び復興庁において適切に管理するとともに、各種施策の検討目的以外には使用いたしません。
- ・ また、回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● 提出方法

- ・ 回答済みの調査票は、11月15日(月)までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。

【お問い合わせ先】 ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-951-249

[設置期間：11月2日(火)～11月15日(月)]

平日 10時～17時]

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 生活拠点課

Tel 024-521-8306

南相馬市

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地

南相馬市 被災者支援課

Tel 0244-24-5223

はじめに、回答いただくあなたご自身の現在の状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 1 あなたの性別、年齢について教えてください。

性別	1. 男	2. 女
年齢(ご記入ください)	才	

【すべての方に伺います。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者 (継続中もしくは再開済)	6. パート・アルバイト
2. 自営業・会社経営者(休業中)	7. 無職(職を探していない)
3. 会社員	8. 無職(職を探している)
4. 団体職員	9. その他(具体的に
5. 公務員)

あなたの東日本大震災発生時の状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 3 **震災発生当時**にお住まいだった居住地を教えてください。(○は1つ)

南相馬市内の旧避難指示区域			原町区	その他
小高区				
中部	西部	東部		
1. 一区	13. 飯崎	25. 女場	40. 雫	54. 原町区
2. 二区	14. 角間沢	26. 角部内	41. 小浜	55. 鹿島区
3. 三区	15. 小谷	27. 上蛭沢	42. 下江井	56. 市外
4. 四区	16. 摩辰	28. 下蛭沢	43. 小沢	
5. 五区	17. 南鳩原	29. 浦尻	44. 堤谷	
6. 小高	18. 北鳩原	30. 下浦	45. 江井	
7. 片草	19. 羽倉	31. 行津	46. 米々沢	
8. 吉名	20. 大富	32. 上浦	47. 大甕下	
9. 岡田	21. 金谷	33. 神山	48. 高一	
10. 川原田	22. 川房	34. 上耳谷	49. 高二	
11. 大井	23. 大田和	35. 下耳谷	50. 小木迫	
12. 塚原	24. 小屋木	36. 泉沢	51. 鶴谷	
		37. 福岡	52. 馬場	
		38. 村上	53. 高倉	
		39. 井田川		

【問 3 で「54」～「56」以外を回答した方に伺います。】

問 4 **震災発生当時**のお住まいが、平成24年度の避難指示区域見直し時点において、以下の各区域のどこに該当していたかを教えてください。(別途同封しております、「南相馬市地図」をご参考ください。)(○は1つ)

1. 帰還困難区域
2. 居住制限区域
3. 避難指示解除準備区域
4. わからない

【すべての方に伺います。】

問 5 **震災発生当時**にお住まいだった住宅形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | (具体的に) |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |

あなたの現在の状況について教えてください。

【すべての方に伺います。】

問 6 現在、あなたはどちらにお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. 震災発生当時の住居 | ⇒ <u>問 8 へ</u> |
| 2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)の住居 | ⇒ <u>問 8 へ</u> |
| 3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居 | ⇒ <u>問 7 へ</u> |
| 4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している | ⇒ <u>問 7 へ</u> |
| 5. 南相馬市以外 | ⇒ <u>問 7 へ</u> |

【問 6 で「3. 南相馬市内の震災発生当時の地区以外の住居」「4. 震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」「5. 南相馬市以外」と回答した方に伺います。】

問 7 現在、あなたがお住まいの場所を教えてください。(○は1つ)

※「4.震災発生当時の住居とそれ以外の住居を行き来している」と回答した方は、震災発生当時の住居でない方のお住まいの場所についてお答え下さい。

1. 小高区
 2. 原町区
 3. 鹿島区
 4. 南相馬市以外
→具体的にご記入ください
- (都・道・府・県)
 (市・区・町・村)

【すべての方に伺います。】

問 8 現在、あなたがお住まいになっている住宅の形態を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 南相馬市営の災害公営住宅 | 6. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 福島県営・南相馬市営の復興公営住宅 | 7. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| 3. その他の公営住宅(「1」と「2」は除く。) | 8. 親戚・知人宅 |
| 4. 民間賃貸住宅 | 9. その他 (具体的に |
| 5. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) |) |

現在、南相馬市にお住まいの方は問 9(4 ページ)へ
それ以外の方は問 16(6 ページ)へ

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 9 **現在の場所**にお住まいの理由を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 住み慣れているから | 10. 気候が温暖だから |
| 2. 家(自宅)があるから | 11. 交通が便利だから |
| 3. 家族や親せき、友人などがいるから | 12. 買い物が便利だから |
| 4. 妊娠・出産の支援が充実しているから | 13. 娯楽施設があるから |
| 5. 子育てがしやすいから | 14. 文化施設が整っているから |
| 6. 教育環境が整っているから | 15. スポーツ施設が整っているから |
| 7. 医療が充実しているから | 16. 復興に貢献したいから |
| 8. 仕事があるから | 17. 特に無い |
| 9. 自然環境に恵まれているから | 18. その他(具体的に |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 10 **現在の主な日用品(食料品・生活用品)の買い物先**を教えてください。

(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------|
| 1. 小高区 | 4. 浪江町 |
| 2. 原町区 | 5. 相馬市 |
| 3. 鹿島区 | 6. その他(具体的に |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 11 **現在の主な通院先**を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------|-------------|
| 1. 小高区 | 4. 浪江町 |
| 2. 原町区 | 5. 相馬市 |
| 3. 鹿島区 | 6. その他(具体的に |
| | 7. 通院していない |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 12 **現在の買い物や通院のための主な交通手段**を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 自家用車(自己運転) | 6. 知人・友人の自家用車 |
| 2. ジャンボタクシー(予約制乗合) | 7. 鉄道 |
| 3. 定額タクシー(みなタク) | 8. 徒歩・自転車・原付バイク |
| 4. タクシー(「2」と「3」以外) | 9. その他(具体的に |
| 5. 家族の自家用車 | |

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 13 **現在**お住まいの場所での隣組への加入状況を教えてください。(○は1つ)

1. 加入している	理由
2. 加入していない	

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 14 **現在**、地域活動に参加している場合、該当するものを教えてください。

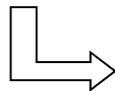
(○はいくつでも)

1. 行政区の活動	5. 道路愛護会
2. 老人会	6. その他
3. サロン活動	具体的に
4. 市民活動団体事業	
	7. 参加していない
	理由

【南相馬市内にお住まいの方に伺います。】

問 15 **現在の**ボランティア活動への参加の意向を教えてください。(○は1つ)

1. 参加したい	理由
2. 参加したくない	
3. 参加できない	



震災当時、南相馬市内にお住まいだった方は問 16(6 ページ)へ
それ以外の方は問 23(9 ページ)へ

将来に関するご意向について教えてください。

問 16～問 22 (6～8 ページ) は、震災当時、南相馬市内にお住まいだった方がお答えください。
※それ以外の方は、問 23 (9 ページ) へお進みください。

【震災当時、南相馬市内にお住まいだった方に伺います。】

問 16 南相馬市への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 既に南相馬市に戻っている | ⇒ 問 23 へ |
| 2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) | ⇒ 問 17 へ |
| 3. まだ判断がつかない | ⇒ 問 20 へ |
| 4. 戻らないと決めている | ⇒ 問 20 へ |

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 17 南相馬市への今後の定住先について、現時点でどのようにお考えですか。

(○は1つ)

1. 震災発生当時の住居に住みたい
2. 震災発生当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)に住みたい
3. 南相馬市内(震災発生当時の地区以外)に住みたい
4. 震災発生当時の住居と現在の住居を行き来したい

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 18 現時点での住みたい時期についてお聞かせください。(○は1つ)

1. 1年以内に住みたい
2. 3年以内に住みたい
3. 5年以内に住みたい
4. しばらく様子を見たい

【問 16 で「2. 戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)」と回答した方に伺います。】

問 19 「住みたい時期」の理由についてお聞かせください。(○はいくつでも)

1. 新築やリフォーム等による住まいの確保が可能となる時期であるため
2. 学校の入学、卒業など子どもの学校の状況に応じた時期であるため
3. 近所の方と帰る時期を相談し決めているため
4. 借り上げ住宅など住宅に関する支援が終了したため
5. その他〔具体的に

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方に伺います。】

問 20 南相馬市への帰還について、「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」理由を教えてください。(〇はいくつでも)

【原発・健康不安に関わるもの】

1. 放射線量の低下、除染の効果に不安があるから
2. 放射線による人体への影響に不安があるから
3. 原子力発電所の安全性(廃炉作業の難航)に不安があるから
4. 中間貯蔵施設建設に遅れがあるから
5. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

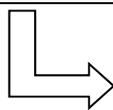
【復旧・復興状況に関わるもの】

6. 南相馬市に戻っても仕事がなさそうだから
7. 南相馬市での事業の再開が難しいから
8. 営農などができそうにないから
9. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
10. 道路・鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. すでに恒久的住宅を取得したから
16. 他の住民も戻りそうにないから
17. 津波被害により災害危険区域に指定され自宅に戻れないから
18. 避難先で仕事を見つけているから
19. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
20. 避難先の方が、生活便利が高いから
21. すでに生活基盤ができているから
22. 家族間での意見が分かれており、帰還意向について回答できない
23. その他

具体的に



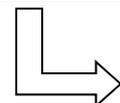
問 16 で「3.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 21(8 ページ)へ
問 16 で「4.戻らないと決めている」を選んだ方は問 22(8 ページ)へ

【問 16 で「3. まだ判断がつかない」と回答した方に伺います。】

問 21 南相馬市へ戻ることを判断するために必要なことを教えてください。

(〇はいくつでも)

1. 公共交通機関の状況
2. 医療機関(診療科)の状況
3. 介護・福祉施設の状況
4. 保育・教育環境の状況
5. 商業施設の状況
6. 放射線量の低下の見通し、除染成果の状況
7. どの程度の住民が戻るかの状況
8. 中間貯蔵施設に関する情報
9. 原子力発電所の安全性に関する情報(廃炉作業の状況)
10. 放射線の人体への影響に関する情報
11. 働く場の確保の見通し
12. 公営住宅・居住環境の状況
13. 住宅確保への支援に関する情報
14. 有害鳥獣対策の強化
15. 町内コミュニティ活動・生涯学習機会の創出
16. その他(具体的に)
17. 現時点で家族間の意見が分かれており、帰還意向について回答できない
18. 現時点ではどのような情報があれば判断できるかわからない

 問 22(8 ページ)へ

【市外に避難をしている方(問 16 で「2. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」「3. まだ判断がつかない」「4. 戻らないと決めている」と回答した方)に伺います。】

問 22 避難先の自治体で、引き続き健康診査や各種がん検診を受診することができるよう、健(検)診受診の機会を確保してほしいか教えてください。(〇は1つ)

1. 確保してほしい
2. 確保しなくてよい
3. どちらでもよい
4. その他(具体的に)

 問 23(9 ページ)へ

国や福島県、南相馬市へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方に伺います。】

問 23 市の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望、国、県、市への要望などをご自由にお書き下さい。

震災発生当時、南相馬市にお住まいでなかった方は、以上で本調査は終了となります。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

震災発生当時、南相馬市にお住まいだった方は、次ページの「ご家族の現在の状況について」にご回答いただき、本調査は終了となります。

震災当時、南相馬市にお住まいだった方に伺います。

ご家族の現在の状況について

あなたのご家族の現在の状況について、表1～表3よりご回答ください。回答は、世帯の代表者以外のご家族お一人ごとにご記入ください。

※世帯の代表者のことを記入いただく必要はありません。

	世帯の代表者との続柄	性別	年齢	今後の住まいの意向	住みたい時期
	表1から選んでください(1つ)	番号を○で囲んでください	現在の年齢を記入してください	表2から選んでください(1つ)	表3から選んでください(1つ)
記入例	[1]	1.男 ②.女	[30]	[3]	[1]
1人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
2人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
3人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
4人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
5人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
6人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]
7人目	[]	1.男 2.女	[]	[]	[]

表1

世帯の代表者との続柄

1. 妻・夫
2. 子
3. 孫
4. 兄弟・姉妹
5. 父・母
6. 祖父・祖母
7. その他

表2

今後の住まいの意向

1. 震災当時の住居に住みたい(住んでいる)
2. 震災当時の住居ではないが、同じ地区(小高区・原町区)に住みたい(住んでいる)
3. 南相馬市内(震災当時の地区以外)に住みたい(住んでいる)
4. 震災発生当時の住居と現在の住居を行き来したい(行き来している)
5. 現時点では、まだ判断がつかない
6. 南相馬市以外の場所に住みたい(住んでいる)

表3

南相馬市に住みたい時期(表2で1～4を選んだ方のみ回答)

1. 既に住んでいる
2. 1年以内に住みたい
3. 3年以内に住みたい
4. 5年以内に住みたい
5. しばらく様子を見たい

以上でご回答いただく内容は終わりです。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。同封の返信用封筒にご記入済みの調査票を入れて、11月15日(月)までに郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

**南相馬市 住民意向調査
報告書**

令和4年3月

復興庁 福島県 南相馬市

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

